

行動計画の進捗状況について

(第11回 巴川流域総合治水対策協議会)



静岡県



静岡市

目次

1. 行動計画について
 - 行動計画の策定
 - 行動計画表
2. 実施状況について
3. 検討状況について
4. 今後の進め方

行動計画について

行動計画の策定

平成26年10月の台風18号により、巴川流域で浸水家屋1,000棟を超える甚大な被害が発生。



台風18号と同規模の豪雨が発生した場合に少しでも浸水被害を軽減させるため、「巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画」を平成27年7月に策定。

巴川流域における
浸水被害軽減に向けた行動計画
～平成26年台風18号による浸水被害を受けて～



平成27年7月
巴川流域総合治水対策協議会
(静岡県・静岡市)

3.2 浸水の要因

浸水要因としては、大きく4つ考えられます。

要因① 計画の規模を大きく上回る降雨

流域平均の24時間最大雨量362mmは、年超過確率1/100規模以上であり、現在の計画規模である年超過確率1/10を大きく上回っています。

	1時間	3時間	24時間
現在の計画(1/10)	68.7mm	135.9mm	271.2mm
平成26年台風18号	59.7mm (約1/5)	148.0mm (約1/14)	362.4mm (1/100以上)

要因② 洪水ピーク時における洪水調整機能の限界

長く雨が降り続いた後、終わり際に時間雨量40～60mmの強い降雨が連続しました(後方集 中型の降雨)。これにより、巴川の水位がピークに達する前に、遊水地が満水となってしまう、洪水調整機能の限界を超えていました。

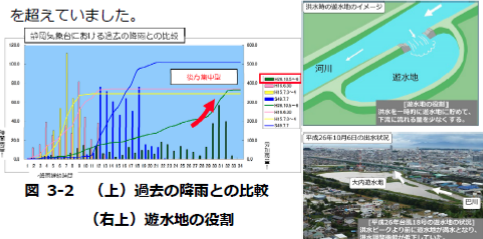


図 3-2 (上) 過去の降雨との比較
(右上) 遊水地の役割
(右下) 大内遊水地の状況

要因③ 標高が低い窪地地形

浸水被害の発生した箇所の多くは、周辺に比べて標高の低い窪地地形であり、氾濫水が溜まりやすい地形特性です。

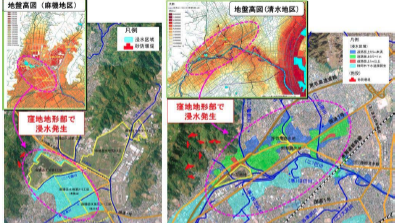


図 3-3 地盤高図と台風18号浸水実績図

要因④ 土砂の流出

降雨により山地から流出した土砂等が水路を埋塞させ、ここから溢れた水が低平地へ流れ込んだことによって、市街地の浸水が拡大したと考えられます。

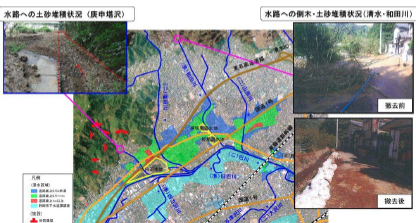


図 3-4 台風18号における土砂堆積状況(清水地区)

行動計画について

行動計画表

計26項目の対策について、今後の取組とスケジュールを示した（資料2-2参照）。今回、主な対策の進捗状況について説明する。

実施項目

洪水処理対策

説明項目

- ・大谷川放水路の底張工
- ・巴川本川の堤防の高さ確保
- ・麻機遊水地第2-1工区の整備推進
- ・既設遊水地の維持管理
- ・治水施設の維持管理
- ・市管理河川の改修事業の推進
- ・下水道（雨水きよ・排水ポンプ）の整備

流出抑制対策

- ・既定計画に基づく流域貯留浸透施設の整備
- ・新たな流域貯留浸透施設の整備

土砂流出対策

- ・巴川本川及び支川の維持浚渫
- ・小河川や排水路等の堆積土砂の排除
- ・砂防事業の推進
- ・森林整備による土砂流出防止機能の向上

ソフト対策

- ・住宅への雨水浸透柵や 雨水貯留タンクの設置の促進
- ・開発業者等への流出抑制指導の継続
- ・巴川流域遊水機能保全活動に対する支援
- ・農地の多面的機能の発揮による 遊水地域の保全
- ・水防法に基づく巴川浸水想定区域図の見直し
- ・洪水・内水ハザードマップの周知・啓発
- ・自主防災組織への支援による共助の強化

検討項目

洪水処理対策

説明項目

- ・巴川本川の流下断面拡大の検討
- ・既存遊水地の機能強化の検討

流出抑制対策

- ・道路への雨水浸透柵等の設置の検討

ソフト対策

- ・行政機関における防災体制の強化
- ・自助による減災行動につながる情報提供のあり方の検討
- ・コンパクトシティーの推進

平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

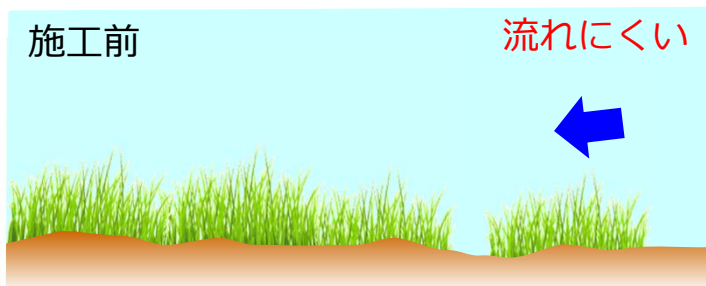
＜ハード対策＞ 洪水処理対策 -3 大谷川放水路の底張工

大谷川放水路に底張工を施工することで、河床に触れる水の抵抗を小さくし、流下能力を向上させます。

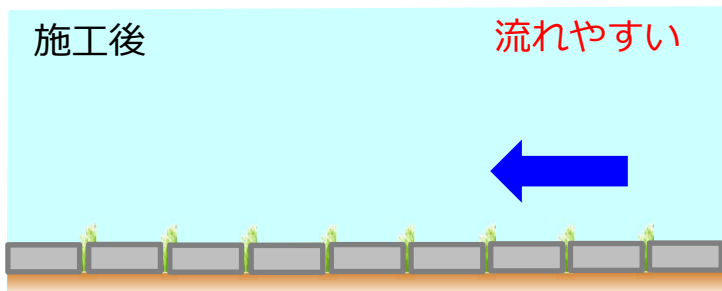


今年度 約170mの底張工を実施

効果イメージ

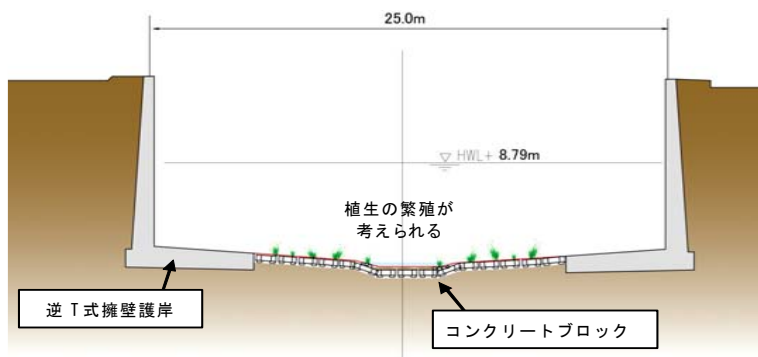


河底にブロックを張り水を流しやすくします。



平成27年度の事業実施状況

工区名	整備状況
第1工区	底張工 L=120m A=1,558m ² （平成28年2月完了）
第2工区	底張工 L= 22m A= 351m ² （平成28年5月完了予定）
第3工区	底張工 L= 27m A= 448m ² （平成28年5月完了予定）



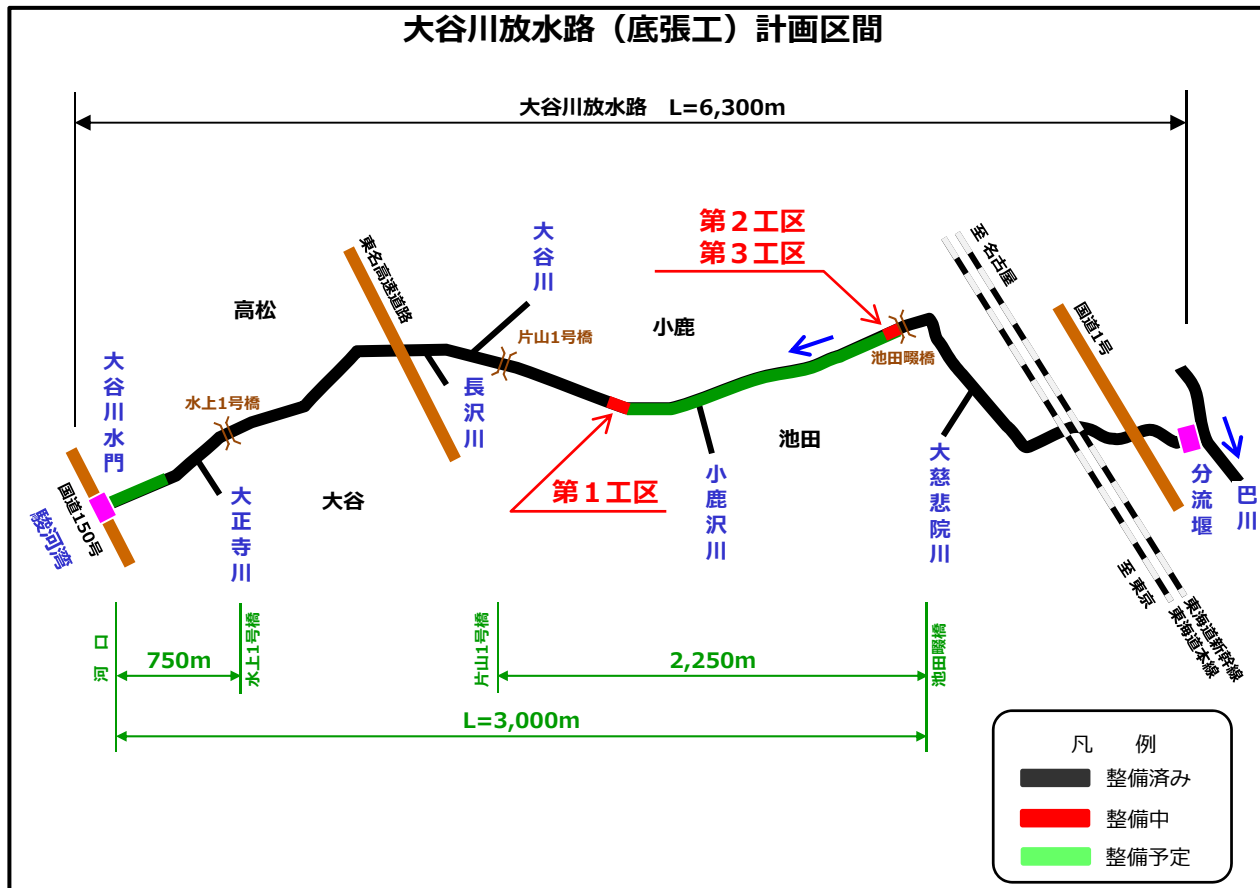
大谷川放水路横断イメージ図



コンクリートブロックによる護床工

平成27年度 事業実施箇所

河川名	整備範囲	延長	工種	実施率
大谷川放水路	放水路河口～水上1号橋下流	750m	底張工	30.7% (H27)
	片山1号橋～池田堰(なわて)橋上流	2,250m		
計		3,000m		



護床ブロック 据付状況



護床ブロック 据付状況



平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

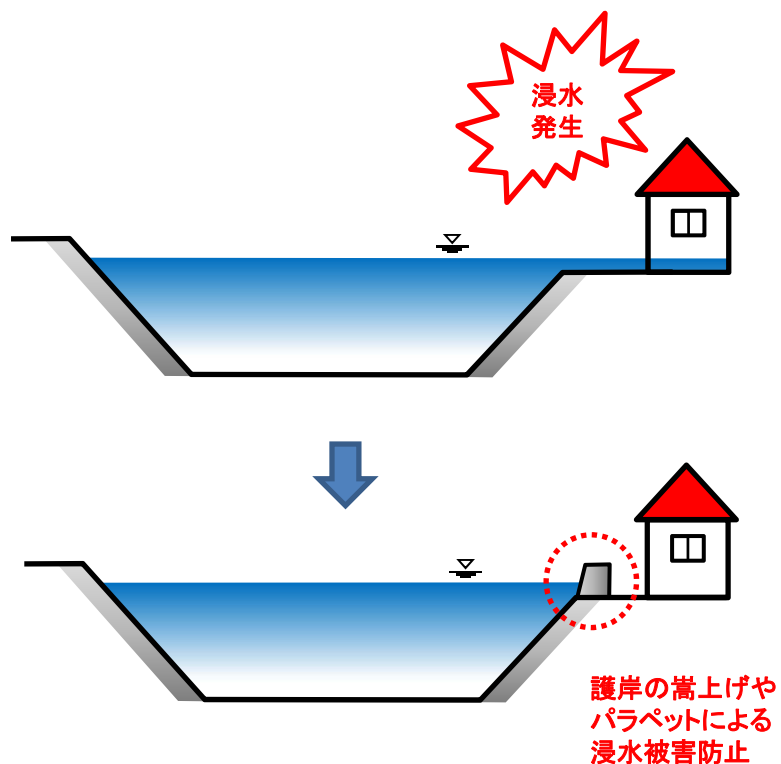
＜ハード対策＞ 洪水処理対策 -4 堤防の高さ確保

巴川本川の堤防の一連区間のうち、局所的に低い箇所の高上げ等を行い、洪水時の弱点を解消します。



今年度 約335mの高上げを実施

効果イメージ



平成27年度の事業実施状況



No	河川名	場所	全体計画	H27
1	(二) 巴川	葵区漆山地先	L=120m	L=120m
2	(二) 巴川	葵区上土地先	L=650m	L=215m

平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

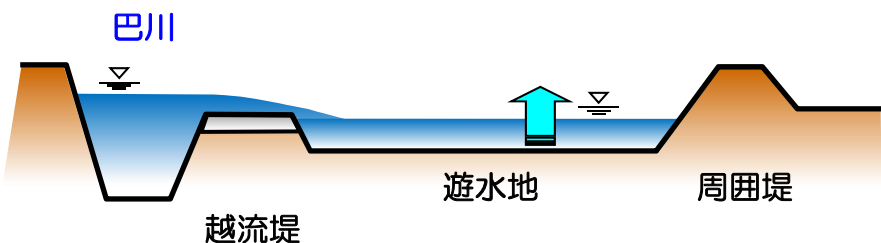
＜ハード対策＞ 洪水処理対策 -5 麻機遊水地第2-1工区の整備推進

洪水時の巴川本川の水位の上昇を抑えるため、麻機遊水地第2-1工区（4エリア）の早期完成を目指します。



今年度 約26,000m³の掘削工を実施

効果イメージ



遊水地の機能は・・・

河川を流れる洪水を越流堤部から引込み貯留する施設で、下流へ流れる洪水の量を減らす機能があります。

周囲堤・越流堤とは・・・

遊水地を囲む堤防が周囲堤で、河川の堤防と同じ高さです。河川の堤防を切り欠いて洪水を引き込む部分が越流堤です。



平成27年度の事業実施状況

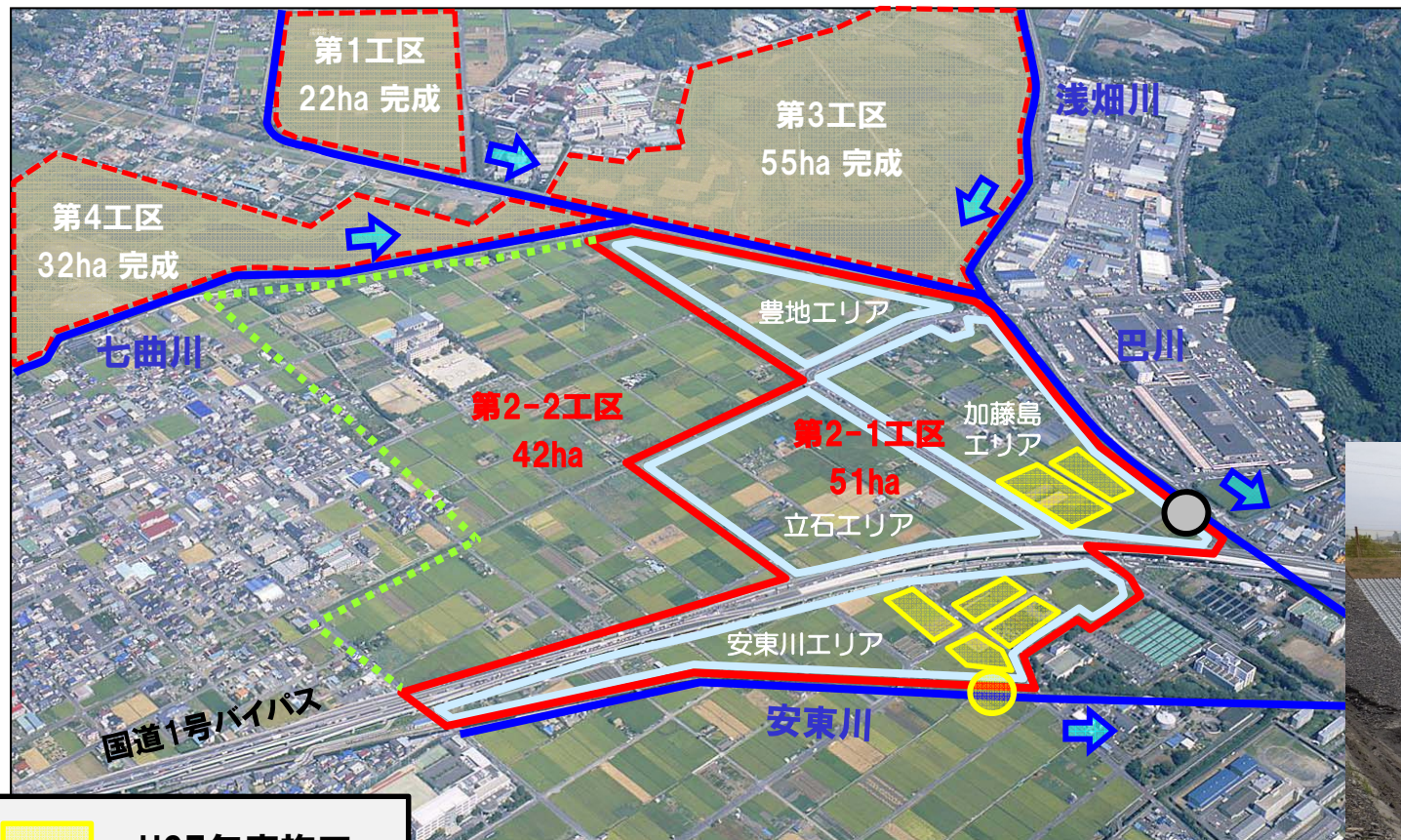
エリア名	整備状況
2-1-1工区	
① 加藤島エリア	①掘削築堤工 V=8,700m ³ （平成28年3月頃完了予定） ②流入樋門詳細設計（平成28年6月頃完了予定）
② 安東川エリア	①掘削築堤工 V=17,400m ³ （平成28年3月頃完了予定） ②排水樋門工（平成27年5月完了） ③流入樋門詳細設計（平成28年6月頃完了予定）
2-1-2工区	
① 立石エリア	①周囲堤詳細設計（平成28年6月頃完了予定） ②地質調査（平成28年5月頃完了予定） ③用地測量（平成28年5月頃完了予定） ※平成28年5月頃 河川予定地指定告示予定
② 豊地エリア	①周囲堤詳細設計（平成28年6月頃完了予定） ②地質調査（平成28年5月頃完了予定） ③用地測量（平成28年5月頃完了予定） ※平成28年5月頃 河川予定地指定告示予定

平成27年度 事業実施箇所

工区名	エリア	民地面積 (ha)	事業期間						
			H27	H28	H29	H30	H31	H32	~H40
2-1-1	加藤島	7.8							
	安東川	6.4							
2-1-2	立石	9.3							
	豊地	7.1							



安東川エリア 掘削工



 H27年度施工



安東川エリア 排水樋門工

平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

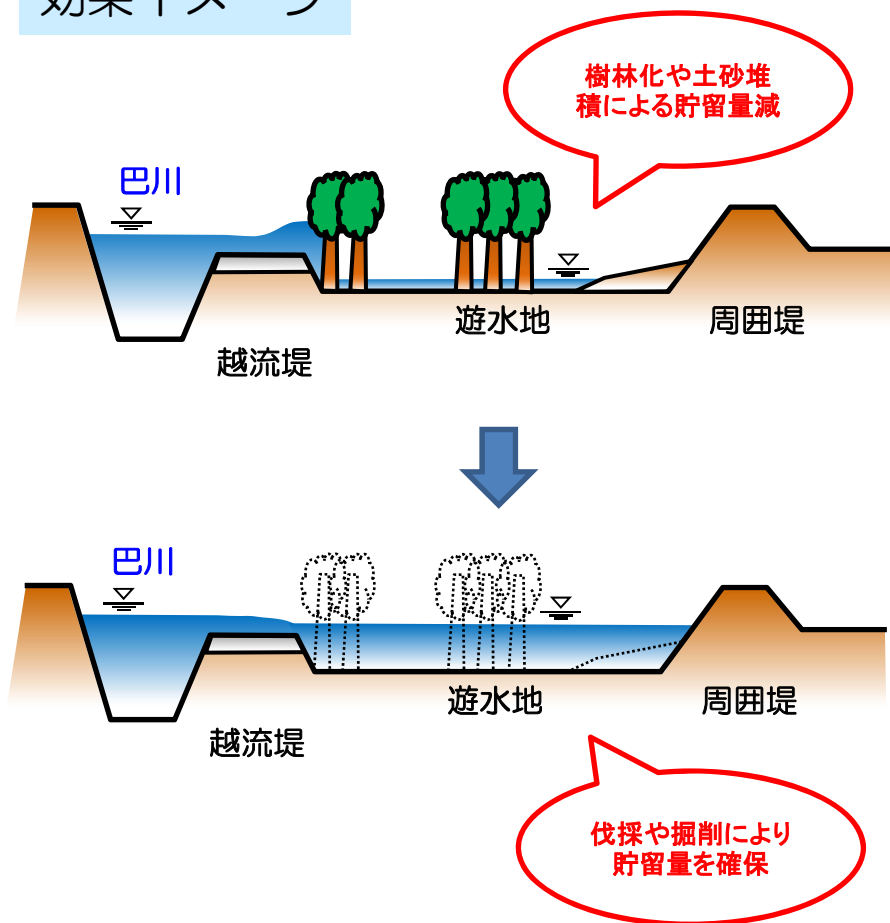
<ハード対策> 洪水処理対策 -6 既設遊水地の維持管理

既設遊水地内の樹林化した箇所や堆積した土砂を掘削することで貯水容量を確保します。



今年度 約190本の治水支障となる立木の伐木を実施

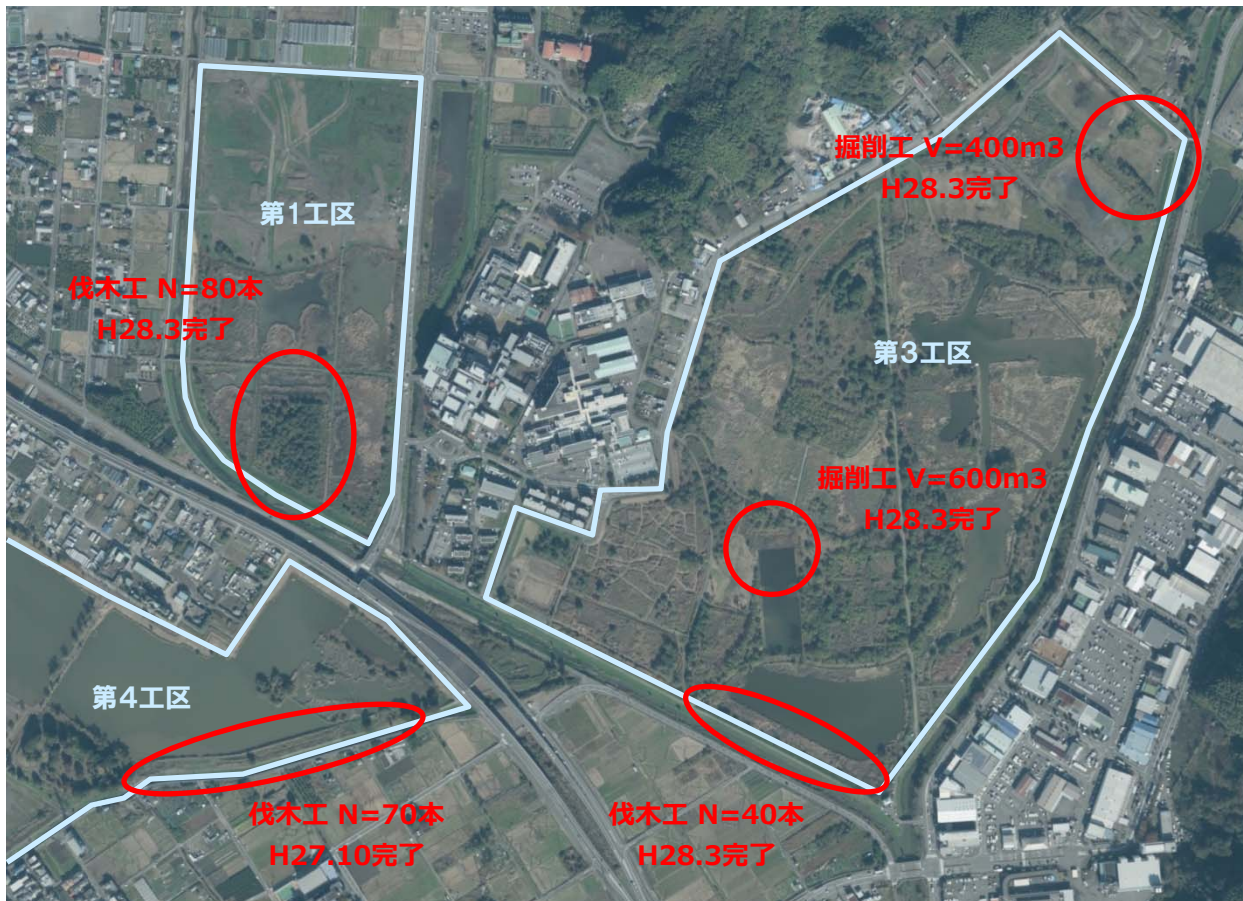
効果イメージ



平成27年度の事業実施状況

工区名	整備状況
麻機遊水地 第1工区	①伐木工1 N=40本（平成28年3月完了）※池内樹林化箇所 ②伐木工2 N=40本（平成28年3月完了）※池内樹林化箇所
麻機遊水地 第3工区	①伐木工1 N=40本（平成28年3月完了）※越流堤箇所 ②掘削工 V=400m ³ （平成28年3月完了） ③掘削工 V=600m ³ （平成28年3月完了）
麻機遊水地 第4工区	①伐木工1 N=70本（平成27年10月完了）※越流堤箇所

平成27年度 事業実施箇所



麻機遊水地4工区 伐木工 着手前 (越流堤箇所)



麻機遊水地4工区 伐木工 完成 (越流堤箇所)



平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

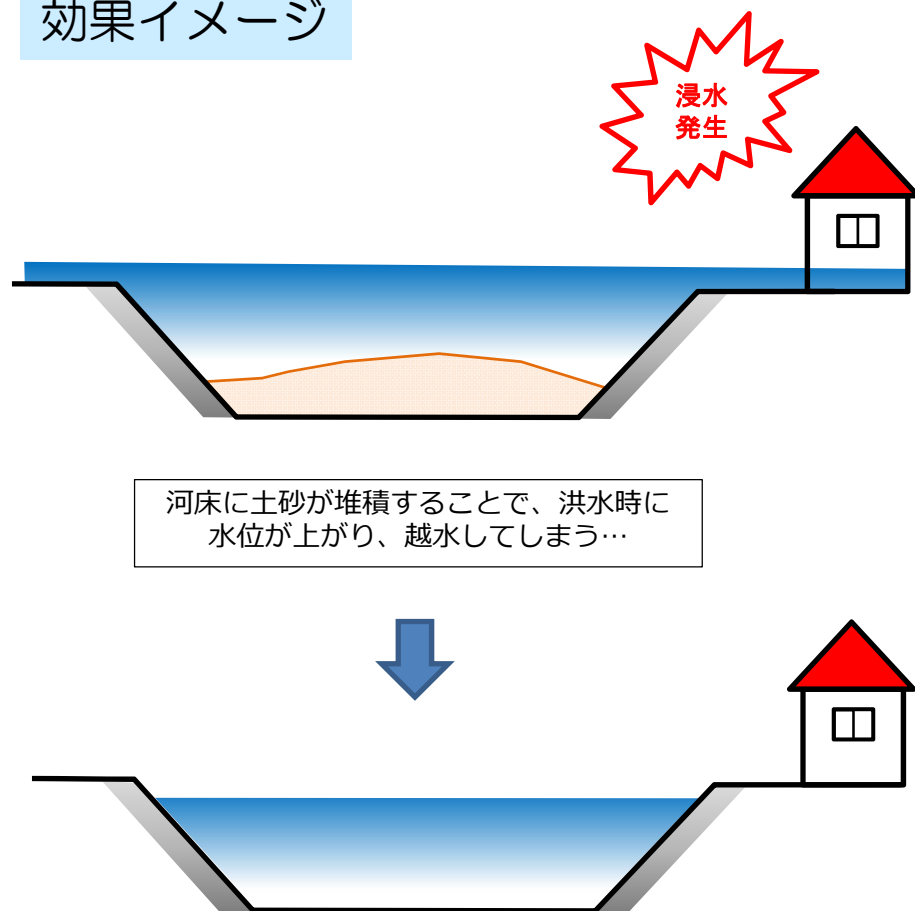
<ハード対策> - 1 土砂流出対策 巴川本川及び支川の維持浚渫

土砂堆積が著しい箇所を浚渫し、洪水の流れる能力を確保し、氾濫を防ぎます。



今年度 7河川 約9,700m³（25mプール約20杯分）の土砂を撤去

効果イメージ



河床に土砂が堆積することで、洪水時に水位が上がり、越水してしまう…

平成27年度の事業実施状況

箇所	整備状況
巴川本川	①河床掘削工 V=6,300m ³ （羽衣橋付近）平成27年6月完了 ②河床掘削工 V=540m ³ （第1工区越流堤付近）平成27年7月完了 ③河床掘削工 V=30m ³ （七曲川合流点付近）平成28年3月完了予定
長尾川	①除石工 V=130m ³ （上流部）平成27年11月完了 ②浚渫工 V=700m ³ （中流部）平成28年3月完了予定
継川	①浚渫工 V=60m ³ （上流部）平成28年3月完了予定
吉田川	①浚渫工 V=280m ³ （東名高速付近）平成27年6月完了
塩田川	①浚渫工 V=560m ³ （上流部）平成27年8月完了 ②浚渫工 V=180m ³ （巴川合流部）平成27年6月完了
山原川	①浚渫工 V=300m ³ （東名高速上流）平成27年11月完了
小鹿沢川	①浚渫工 V=650m ³ （東名高速上流）平成27年11月完了

平成27年度 事業実施箇所

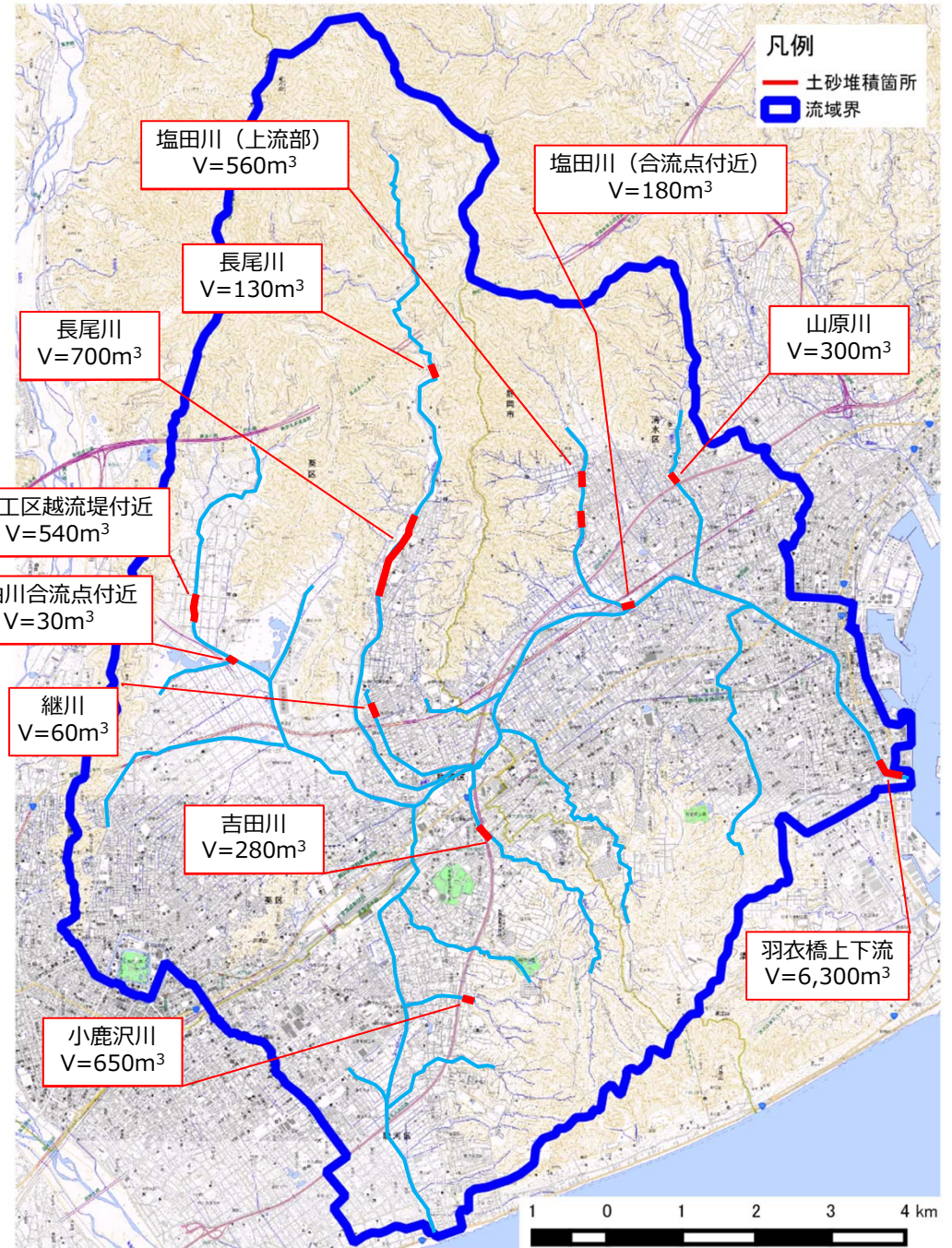
(着前)

(完成)

<巴川 (麻機遊水地第1工区越流堤付近)>



<塩田川 (上流部)>



平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

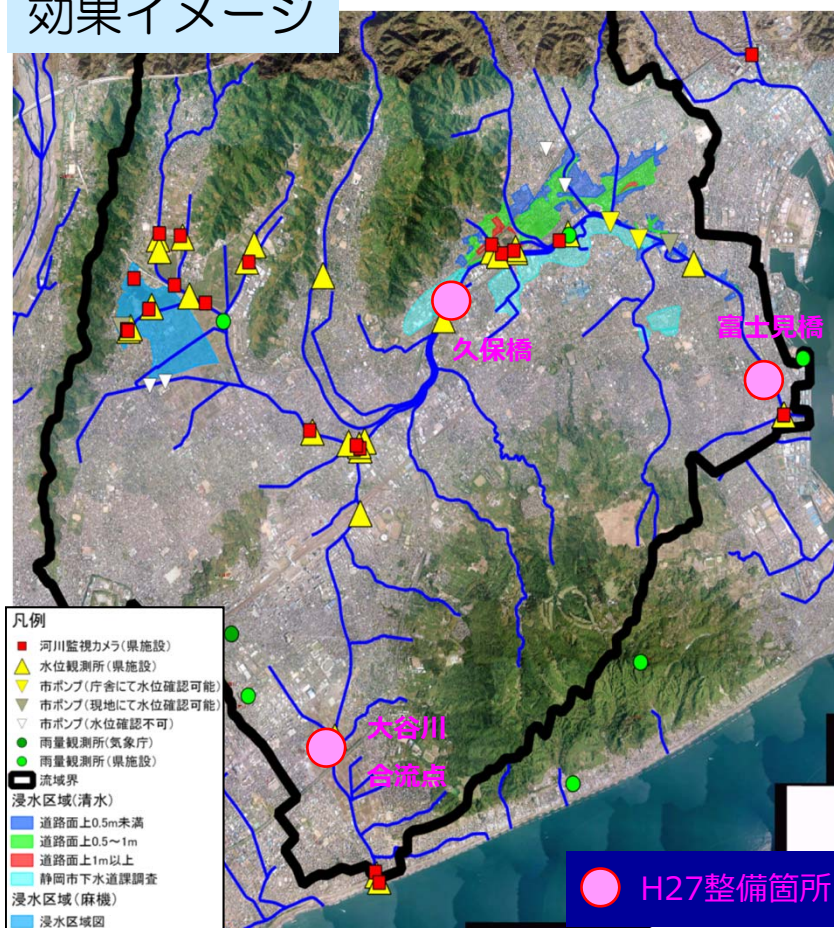
＜ソフト対策＞ 浸水被害軽減対策 -1 行政機関における防災体制の強化

県市連携して、観測空白域への水位計・監視カメラの設置拡大により、情報連携・警戒避難体制の強化を図ります。



今年度 巴川に2箇所、大谷川放水路に1箇所、監視カメラを設置

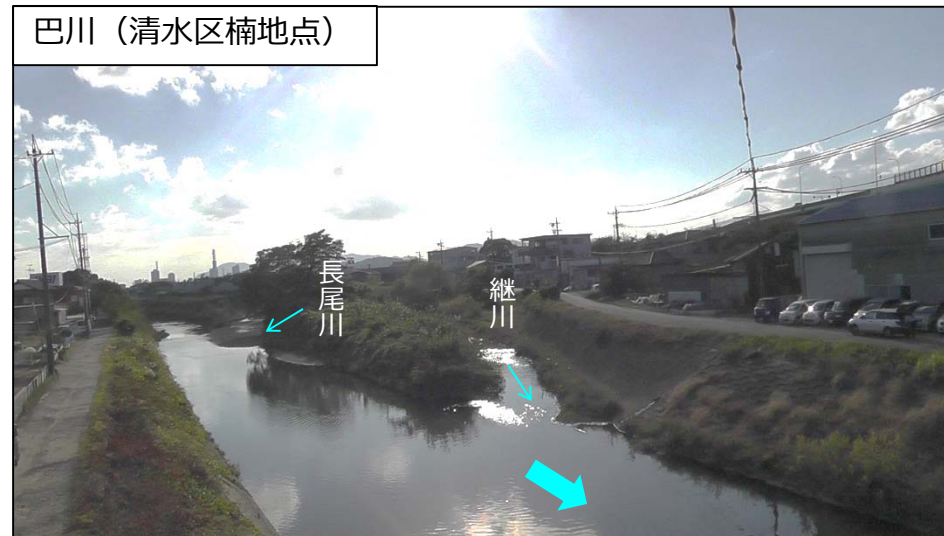
効果イメージ



平成27年度の事業実施状況

河川名	整備状況
巴川	①監視カメラ（清水区富士見町地点） 富士見橋付近 平成28年3月完了 ②監視カメラ（静岡市清水区楠地点） 久保橋付近 平成28年3月完了
大谷川放水路	①監視カメラ（静岡市駿河区大谷地点） 大谷川合流点付近 平成28年3月完了

平成27年度 事業実施箇所（H27カメラ設置箇所における監視イメージ）



平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ハード対策＞
洪水処理対策

-8 市管理河川の改修事業の推進

市内の河川を改修することで、川の氾濫を防ぎます。



今年度 巴川の流域内で3河川の一部区間（計186m）を整備！
今後も、引き続き整備を行っていきます。

効果イメージ

平成27年度の事業実施状況

改修前

川を改修して、雨が降っても川の水があふれないようにします。

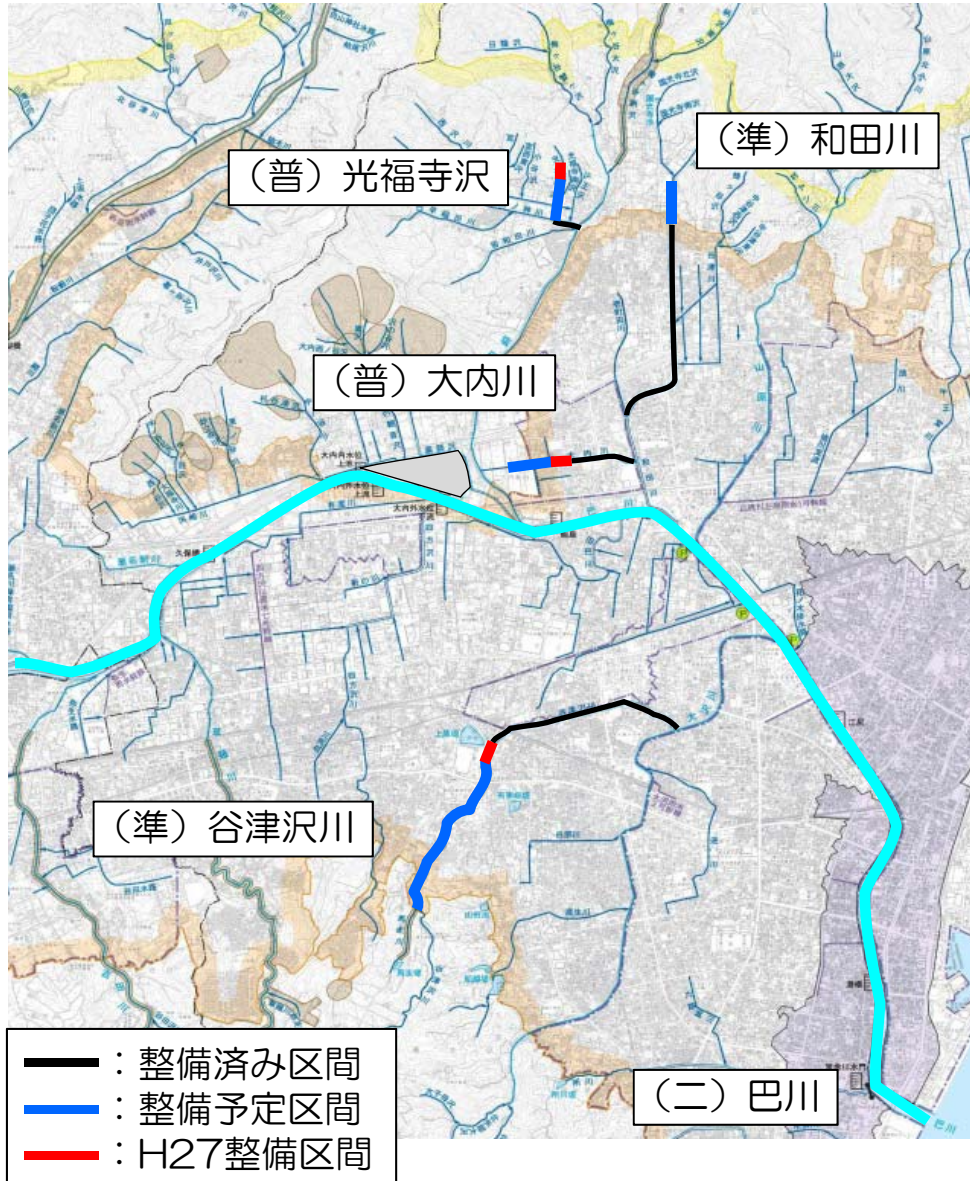
改修後

巴川水系山ノ神川（静岡市清水区柏尾地内）

河川名	地区	実施状況
（普）大内川	清水区 押切、 石川新町	工事延長 90m H28年6月工事完了予定 H28年度以降も引き続き整備を実施
（準）谷津沢川	清水区 馬走	工事延長 34m H28年6月工事完了予定 H28年度以降も引き続き整備を実施
（普）光福寺沢	清水区 柏尾	工事延長 62m H28年6月工事完了予定 H28年度以降も引き続き整備を実施
（準）和田川	清水区 押切、 石川新町	詳細設計を実施 H28年度より整備開始予定

平成27年度 事業実施箇所

川の能力が足りない箇所を対象に改修工事を実施



<ハード対策> 土砂流出対策 -2 小川や排水路等の堆積土砂の排除

市内水路の日常的な維持管理に努めています！



堆積した土砂を撤去

巴川流域内水路

H27年度実績（12月末時点）※巴川流域内

- 堆積土砂撤去件数 45件
- 堆積土砂撤去量 約1,900m³

平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

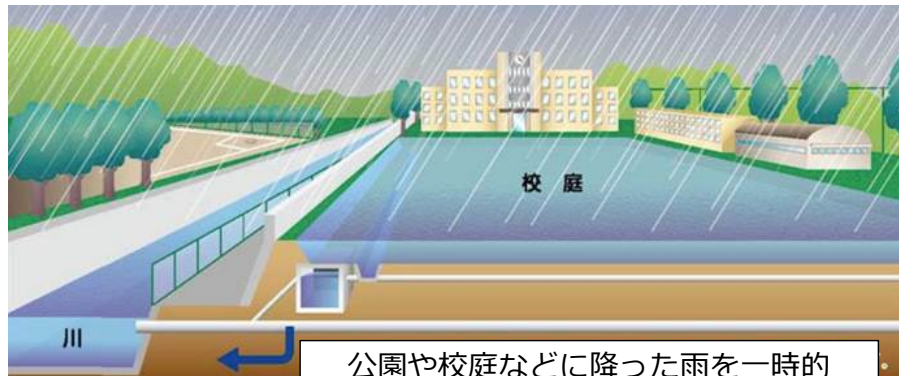
<ハード対策> 流出抑制対策 -1, 2 流域貯留浸透施設の整備

雨水貯留浸透施設を設置することで、
雨水を一時的に公園や校庭などに貯めて、河川への急激な流入を防ぎます。

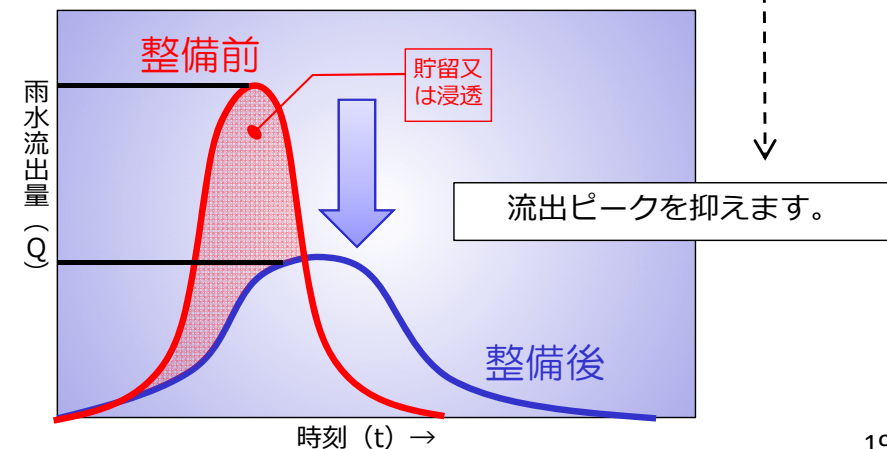


今年度 約16,200m³（25mプール約33杯分）の雨水貯留施設を整備！

効果イメージ（校庭の場合）



公園や校庭などに降った雨を一時的に貯めて、ゆっくり川へ流すことで…



平成27年度の事業実施状況

施設名	主体	整備状況	H27整備貯留量
巴川流域水害対策計画	県立北特別支援学校	整備貯留量:465m ³ 平成27年6月より詳細設計を実施。平成28年5月完成予定	465m ³
	県立草薙旧体育館跡地	計画貯留量:544m ³ 詳細設計を実施。工事は平成29年度着手予定。	設計済
	県立草薙総合運動場南駐車場	詳細設計を実施。 工事は平成28年8月に着手予定。	設計済
	県立草薙総合運動場テニス芝生・ユリノキ広場	整備貯留量:195m ³ 平成28年3月完成予定	195m ³
	押切南遊水地	計画貯留量:70,000m ³ (既存施設から約12,000m ³ の貯留能力増) 平成28年1月完成	12,000m ³
	清水桜が丘高校	整備貯留量:3,965m ³ (既存施設から約700m ³ の貯留能力増) 平成27年11月完成	700m ³
	静岡市立高校	計画貯留量:約3,000m ³ 平成28年3月完成	3,000m ³
日本平公園	整備貯留量:6,473m ³ (H25:6,150m ³ 、H27:323m ³) 平成28年3月完成 ※大規模公共開発に合わせて整備	323m ³	
古庄中央公園	計画貯留量:80m ³ 平成28年2月完成 ※公共施設の新設に合わせて整備	80m ³	
(仮称)新草薙公園	計画貯留量:55m ³ 平成28年7月完成予定 ※公共施設の新設に合わせて整備	55m ³	
計			16,818m ³

平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ハード対策> 洪水処理対策 -9 下水道（雨水きよ・排水ポンプ）の整備

雨水きよや雨水ポンプ場の整備を進め
地区内の雨水を速やかに排除して、市街地の浸水被害を軽減させます。

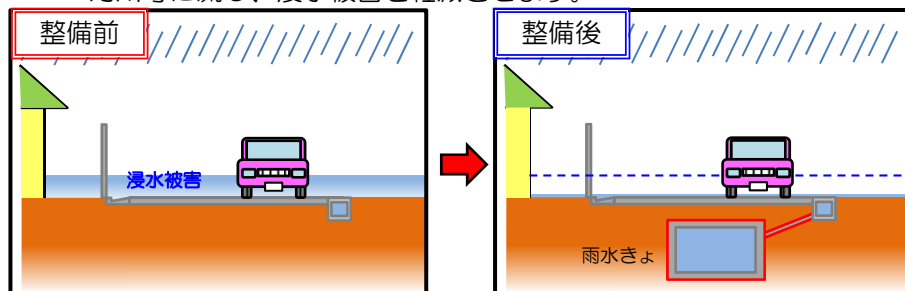


今年度 雨水きよ3地区約400m、ポンプ場1箇所の整備を実施！

効果イメージ

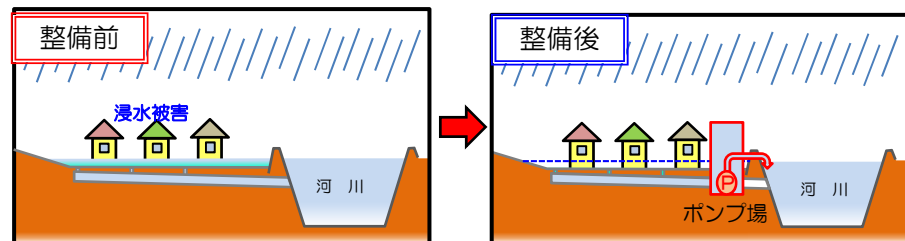
雨水きよの整備

雨水きよを新設又は改修することで、溜まった雨水を河川等に流し、浸水被害を軽減させます。



雨水ポンプ場の整備

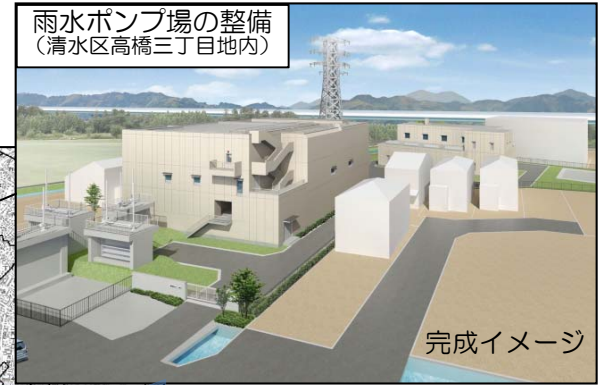
放流先河川などの影響により、低地に溜まった雨水をポンプにより強制的に排水することで、浸水被害を軽減させます。



平成27年度の事業実施状況

種別	排水区名	地区	実施状況
工事	城北排水区	葵区大岩四丁目	雨水きよの整備 L=137.60m H28年12月完成予定
	巴川左岸第4排水区	清水区押切	雨水きよの整備 L=94.60m H28年3月完成
	入江排水区	清水区鶴舞町・追分一丁目	雨水きよの整備 L=162.90m H29年3月完成予定
	山原川左岸排水区	清水区高橋三丁目	雨水ポンプ場の整備 土木工事 H31年度末供用開始予定
委託	沓谷排水区	葵区瓦場町	雨水きよの詳細設計を実施 工事は平成28年度から着手予定
	大谷川右岸排水区	葵区柚木	雨水きよの詳細設計を実施 工事はH28年度から着手予定
	大谷川右岸排水区	駿河区小鹿三丁目	雨水きよの詳細設計を実施 工事はH28年度から着手予定

平成27年度 事業実施箇所



平成27年度実施状況 (巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画)

＜ソフト対策＞
流出抑制対策

-1 住宅への雨水浸透枡や雨水貯留タンクの設置の促進

住宅等に雨水貯留浸透施設を設置することで、雨天時に河川・下水道へ流れ込む量を少なくします。



各種イベント等の普及促進活動を通じ、雨水貯留浸透施設の設置に対する市民の理解が深まり、今年度、助成制度を利用し、21基の雨水貯留タンクの設置があった！

事業内容

住宅等の敷地へ雨水貯留浸透施設を設置する場合、その費用の一部を市が助成します。

対象区域

下水道計画区域
(市街化区域と市街化調整区域の一部)

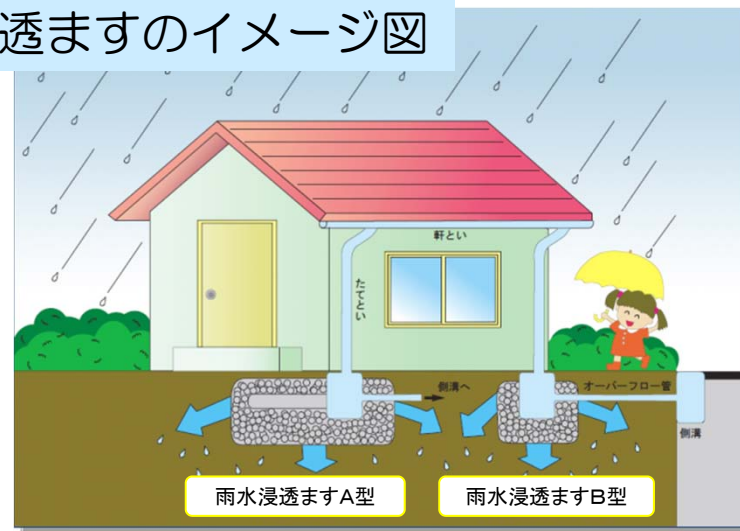
助成額

設置費の3分の2に相当する額
(ただし、施設の種類で限度額あり)

貯留施設のイメージ図



浸透枡のイメージ図



対象施設・限度額

住宅等の敷地に設置する貯留浸透施設

- ・雨水浸透枡A型(浸透枡+トレンチ管) 57,000円/基
- ・雨水浸透枡B型(浸透枡のみ) 28,000円/基
- ・雨水貯留タンク(200ℓ以上) 30,000円
- ・雨水貯留タンク(400ℓ以上) 60,000円
- ・不用浄化槽転用施設 100,000円/基

平成27年度の助成実施状況

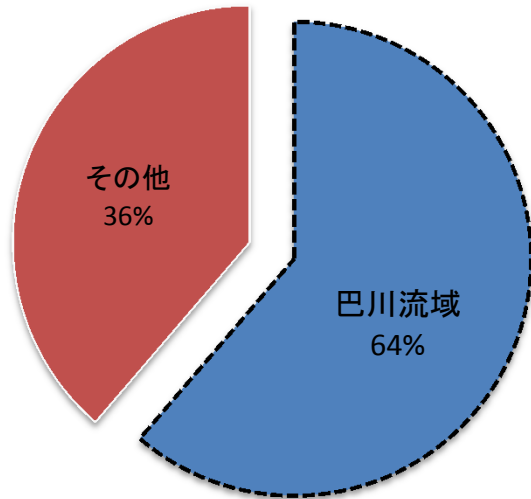


図 施設の設置割合



参考) 雨水貯留タンクの設置状況

表 平成28年2月末時点の設置実績(基)

	雨水 浸透ます	雨水 貯留タンク	不用浄化 槽転用施設	計
市内全体	0	31	2	33
巴川流域	0	21	0	21

普及促進活動の様子



市政出前講座等での普及促進活動
(静岡市中央福祉センター)



各種イベント等での普及促進活動
(アピタ静岡店)

平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ソフト対策> 浸水被害軽減対策 -3 洪水・内水ハザードマップの周知・啓発

住民の防災意識を向上させ、住民の自助を促し、日ごろから大雨に備えていただくことで、浸水被害の軽減を図ります。



県・市が連携し、今年度 約9,800人を対象に周知・啓発活動を実施！

効果イメージ

ハザードマップの活用方法

- 自宅の位置に印をつけましょう
自宅の位置に印をつけたら、自宅など周辺の浸水箇所や深さも、ひなん地区内の「浸水深の目安」を参考にして確認してください。
なお、洪水ハザードマップを併せて準備し、洪水時にあける浸水状況についても確認しましょう。
- 自分たちの避難所に印をつけましょう
内水はん濫では、浸水深が小さいため建物の2階以上へ避難しましょう。
ただし、より大きな雨が降り続いた場合には河川の堤防の決壊や河川からあふれた水による外水はん濫となる恐れがあります。場合によっては、避難所への避難が必要となりますので自分たちの避難所に印を付けて避難経路を設定しましょう。
- 実際に経路を歩いてみて安全を確認しましょう
ハザードマップの浸水箇所を想定し、避難する時間帯や地区に避難されていない地域（階段や地形変化等）を確認しましょう。歩行時も浸水をイメージし、安全な避難が行えるように準備しましょう。
- 地域で協力して、より良いひなん地図にしましょう
地域で、災害や避難について話し合い、情報を共有しましょう。また、高齢者等の避難に配慮が必要と思われる方（避難弱者）についても、地域でできることを考え、みなさんの安全が確保できるようにしましょう。

ハザードマップは、浸水する恐れのある区域が深さ毎に色分けされており、**危険な箇所をあらかじめ把握することができるので、市民の皆さまが、大雨の際に危険な箇所や程度に備え避難ルートや土のうの事前準備など、日ごろから大雨に備えることができる。**

住民の防災意識が向上 > 日ごろから大雨に備える > 浸水被害が軽減する

平成27年度の周知・啓発活動実施状況

年月	実施場所等	参加人数	実施団体
5月	県立科学技術高等学校	40人	(県)土木
6月	堀込自治会、鳥坂自治会、麻機自治会 県立静岡農業高等学校、県立静岡北特別支援学校、 協同組合静岡流通センター	130人 146人	(市)防災 (県)土木
7月	県立清水西高等学校 アピタ静岡店 県立静岡北特別支援学校、江尻小学校、麻機遊水地、 静岡トヨペット(株)、県立静岡中央特別支援学校	83人 650人 260人	(市)下水 (県)土木、(市)河川、下水、防災 (県)土木
8月	押切自治会 青葉シンボルロード(上下水道フェア) アピタ静岡店、巴川バスツアー	30人 4,400人 926人	(市)防災 (市)下水、(県)土木 (県)土木
9月	城北公民館 川合自治会、千代田自治会、麻機子育てサロン 県立静岡中央特別支援学校	35人 125人 43人	(県)土木、(市)下水、防災、河川 (市)防災 (県)土木
10月	麻機遊水地(麻機遊水地フェスタ)	2,500人	(県)土木
11月	県立静岡北特別支援学校	71人	(県)土木
12月	市中央福祉センター 県立城北小学校	50人 123人	(市)下水、防災 (県)土木
1月	麻機遊水地(麻機遊水地柴揚げ漁)	100人	(県)土木
2月	渋川自治会	50人	(市)下水、防災
計		9,762人	

平成27年度 周知・啓発活動実施箇所



出前講座（静岡北特別支援学校）



出前講座（県立清水西高等学校）



出前講座（麻機遊水地）



巴川バスツアー（大谷川放水路分流堰）



上下水道フェア（青葉シンボルロード）



治水イベント（アピタ静岡店）

● 周知・啓発活動実施箇所

平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ハード対策> 土砂流出対策 -3 砂防事業の推進

- ①巴川流域内にある土石流危険渓流について、砂防えん堤等の施設整備を進めている。
- ②清水大内地区において、放置竹林からの土砂流出を防止し、砂防樹林帯（グリーンベルト）の適正な管理を行うため、NPO法人『森と水辺を育てる会』と「砂防サポートプログラム」の合意書を締結し、協働を実施している。



今年度 山ノ神川(H=7.0m,L=42.5m)、長尾南沢(H=4.6m,L=44.0m)の砂防えん堤を整備
『森と水辺を育てる会』によりイベント 12回、作業会 33回 開催

効果イメージ（砂防えん堤）



砂防えん堤の整備により、
土石流発生時の被害軽減を図ります。
(写真は他事例)

平成27年度の事業実施状況（砂防えん堤）

沢名	地区	実施状況
長尾南沢	葵区 長尾	今年度工事施工中 (今年度) 高さ4.6m, 幅44m (完成時) 高さ10.5m, 幅76m 平成28年度工事完了予定
山ノ神川	清水区 柏尾	今年度工事施工中 (今年度) 高さ7.0m, 幅42.5m (完成時) 同上 平成28年度工事完了予定
中谷津西沢	清水区 蜂ヶ谷	今年度詳細設計中 平成30年度工事完了予定

平成27年度 事業実施箇所

長尾南沢
H28完了予定

山ノ神川
H28完了予定

中谷津西沢
H30完了予定

清水大内地区
(グリーンベルト活動箇所)

グリーンベルト今年度活動内容

4月5日	合同植樹祭
4月17日	有度北保育園タケノコ掘り
4月18～19日	春の園芸市
4月26日	小学校親子タケノコ掘り
6月5日	県政さわやかタウンミーティング
6月11日	里山教室
6月30日	有度北保育園園児七夕用竹伐り出し
9月20～21日	秋の園芸市
12月6日	里山教室
12月27日	門松作り
1月15日	里山教室
3月6日	震災復興イベント



平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ハード対策＞ 土砂流出対策 - 4 森林整備による土砂流出防止機能の向上

森林の適正な整備を推進することで、
森林の土砂流出防備機能の維持・向上を図ります。



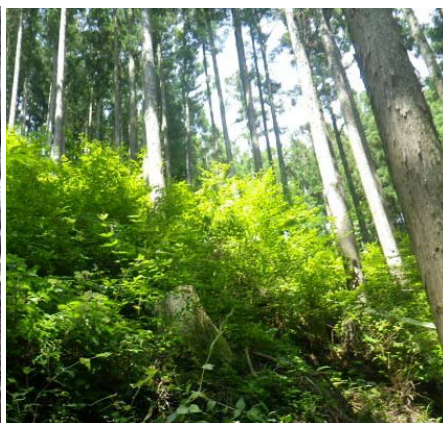
今年度、巴川流域で約1.9haの森林整備を実施しました。

効果イメージ

整備不足の森林



整備された森林

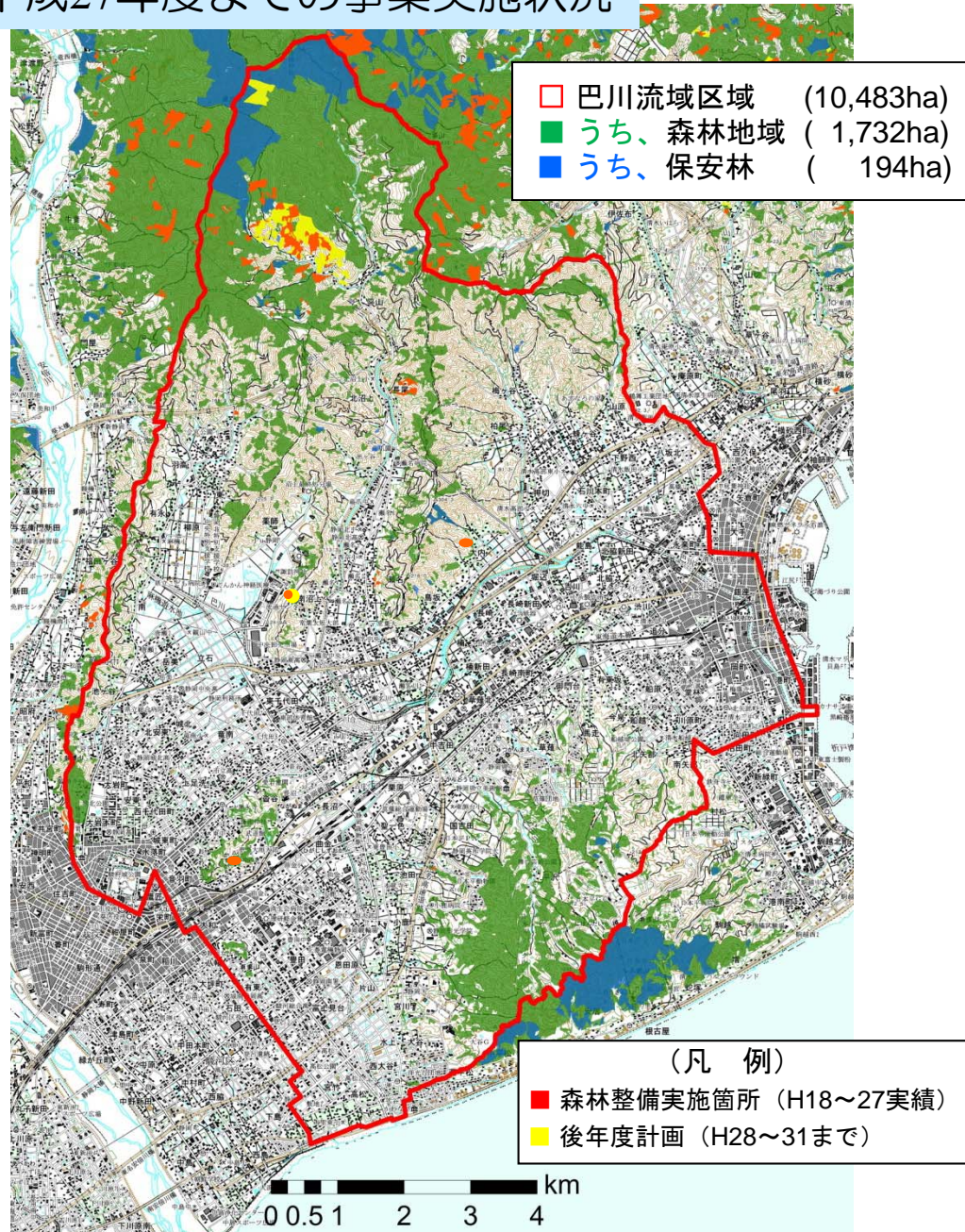


- 間伐等の森林整備の実施による地表植生の回復により、土砂流出防備機能を高めます。
- また、森林土壌の流亡を防ぎ、水源涵養機能の維持増進による洪水の緩和が図られます。

平成27年度までの事業実施状況

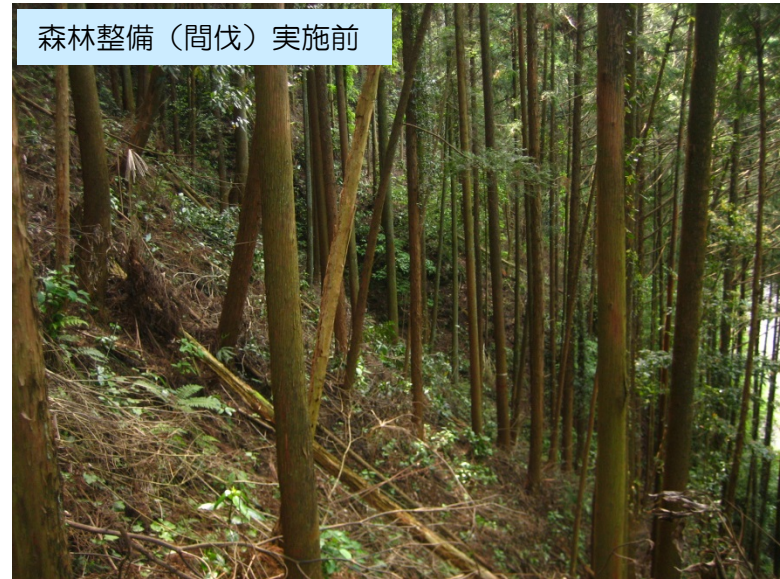
事業名	主体	整備状況		
		～H26まで	H27	H28～31
県事業	造林補助事業等	53.3ha	1.3ha	22.9ha
	森の力再生事業			
	治山事業			
市事業	里山整備竹林対策委託事業	10.8ha	0.6ha	2.4ha
	静岡市放任竹林対策推進事業	平成25年度に9団体に対し補助金を交付。5年間の管理協定を締結し、延べ4.7haの竹林の維持管理を行っている。		

平成27年度までの事業実施状況



事業実施箇所の様子

(静岡市葵区北沼上：森の力再生事業)



平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

〈ソフト対策〉
流出抑制対策

-4 農地が有する多面的機能の発揮による遊水地域の保全

農地の多面的機能の発揮により遊水地域の保全を図る。



多面的機能支払交付金事業の活用により、A=14.6haの農地が保全された。

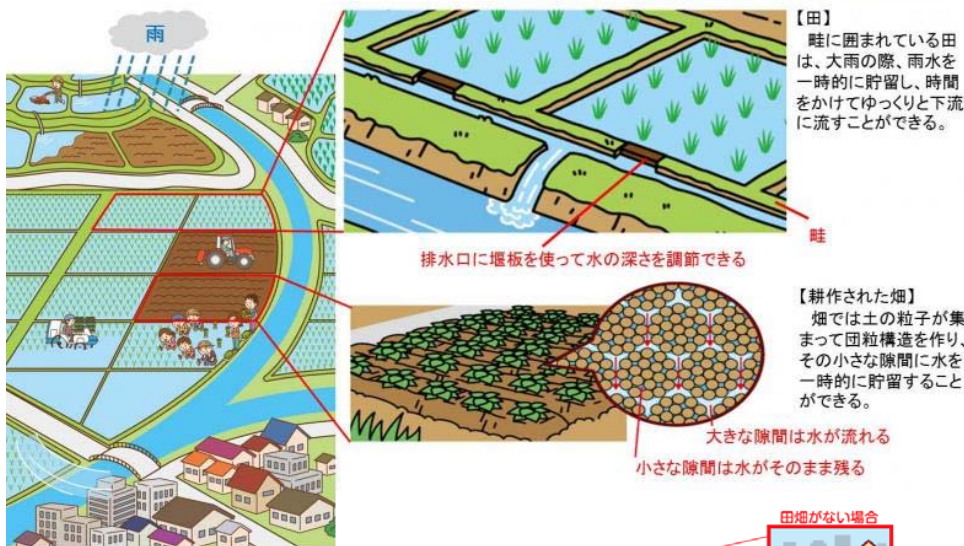
効果イメージ

【農地の洪水を防ぐ働き】

田は水を貯留する機能がある

畦に囲まれている田は、大雨の際、雨水を一時的に貯留し、時間をかけてゆっくりと下流に流すことができる。

（出典：農林水産省ホームページより）



【田】
畦に囲まれている田は、大雨の際、雨水を一時的に貯留し、時間をかけてゆっくりと下流に流すことができる。

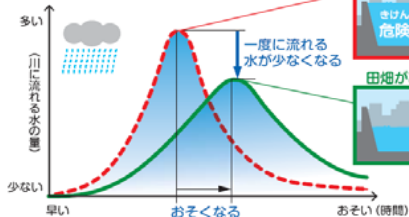
【耕作された畑】
畑では土の粒子が集まって団粒構造を作り、その小さな隙間に水を一時的に貯留することができる。

大きな隙間は水が流れる
小さな隙間は水がそのまま残る

田畑がない場合

きびん危険

田畑がある場合



【降雨時、川に流れる水量の変化】
田畑のある場所では、雨水を貯留することができるため、一度に川に流れる水量を減らすことができる。

支援制度について

～農地の多面的機能を保全する支援制度（農林水産省所管）～

●農業・農村の多面的機能の維持・発揮を目的に

農村地域の高齢化、人口の減少などで、農業生産に伴う地域の共同活動などにより支えられてきた多面的機能の発揮に支障が生じつつあります。このため、平成26年度から農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対する支援制度「日本型直接支払制度」が始まりました。

～日本型直接支払制度～

多面的機能支払交付金

【農地維持支払】

農業者等による組織が取り組む、水路の泥上げや農道の路面維持等の地域資源の基礎的保全活動や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化等、多面的機能を支える共同活動を支援します。

【資源向上支払】

地域住民を含む組織が取り組む、水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動や、施設の長寿命化のための活動を支援します。

中山間地域等直接支払交付金

中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正することにより、耕作放棄地の発生防止や機械・農作業の共同化等、農業生産活動を将来に向けて維持するための活動を支援します。

環境保全型農業直接支払交付金

農業者等が実施する化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取り組みとセットで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合に支援します。



水路の泥上げ



植栽活動

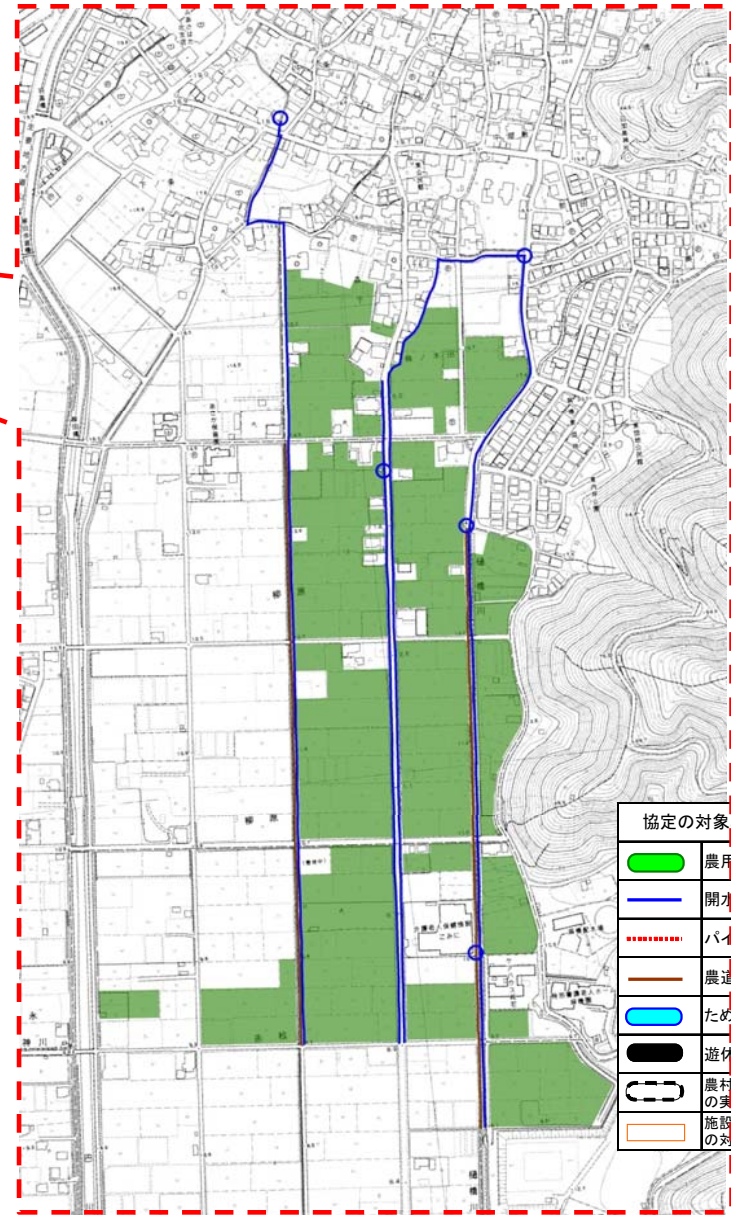
田に貯留できる水の量は日本全国で合わせると約50億m³※1)になるともいわれており、これは東京ドーム(124万m³※2)の約4000杯に相当します。

※1) 日本学術会議「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について(答申)」(平成13年11月)及び関連付属資料

※2) 東京ドームシティホームページ



平成27年度 多面的機能支払交付金事業 実施個所



平成27年度より 地域住民などで構成される「あさはた東農地保全会」によりA=14.6haの農地が保全された。



遊休農地の保全活動

水路の保全活動

平成27年度実施状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ソフト対策>
浸水被害軽減対策

-4 自主防災組織への支援による共助の強化

自主防災組織が購入する土嚢袋などに対し支援を行うことで、共助の強化を図る。



今年度 自主防災組織が購入する資機材に対し助成！

効果イメージ

平成27年度の事業実施状況



学生参加の自主防災訓練

平成27年度自主防災組織補助金事業

申請件数	421件
土のう袋	9件
砂	1件 ※
土のうステーション	1件 ※
スコップ	6件
リヤカー	19件

上記以外に水中ポンプ、ブルーシートなどもあり

※ 新規に砂・土のうステーションの購入を補助対象とした

平成27年度 事業実施箇所



● 本年度実施自主防災組織

万が一の浸水に備え、土のうなどの備蓄品を整備

その他の対策

<ハード対策> 洪水処理対策 - 7 治水施設の維持管理

- 既存の治水施設（分流堰、逆流防止樋門）等の適正な維持管理を行っている。
- 出水時に備え、引き続き適正な維持管理を実施する。

<ハード対策> 土砂流出対策 - 2 小河川や排水路等の堆積土砂の排除

- 日常的に、排水路等の適切な維持管理を行っている。
- 巴川流域内において、45箇所（1,900m³）の堆積土砂を撤去（H27末時点）

<ソフト対策> 流出抑制対策 - 2 開発業者等への流出抑制指導の継続

- 雨水浸透阻害行為に対する適切な流出抑制指示と施設の適正な維持管理及び指導を行っている。
- 引き続き、開発業者等へ流出抑制指導を実施していく。

<ソフト対策>
流出抑制対策 -3 巴川流域遊水機能保全活動に対する支援

- 指定区域内で、盛土・かさ上げ等を実施せずにその形状及び遊水機能を保全する者に対して報償金を支出している。
- 巴川流域総合治水対策事業の完了まで継続する。

<ソフト対策>
浸水被害軽減対策 -2 水防法に基づく巴川浸水想定区域図の見直し

- 平成27年7月の水防法改正により、浸水想定区域の対象降雨が、従来の計画規模の降雨から想定し得る最大規模の降雨に変更されたため、浸水区域の見直しを行う。

平成27年度検討状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ハード対策> 洪水処理対策 -1 巴川本川の流下断面拡大

巴川本川の河床掘削や断面拡大により、流下能力を向上させることで流域における浸水被害の軽減を図ります。

平成27年度検討内容

委託業務期間：H27.7～H28.3
業務内容：対策案の検討及び費用対効果の算定

【検討目的】

巴川本川において、一定計画に基づく浸水対策の検討を行う。

【検討内容】

STEP①：氾濫シミュレーションモデルを改善し、再現性を向上させたくうえで、台風18号実績降雨波形によるシミュレーションを実施し、浸水状況や被害額の算出を行う。



STEP②：STEP①を踏まえ、台風18号実績降雨波形を考慮した現行計画規模（年超過確率1/10）の降雨波形を作成のうえ、シミュレーションを実施し、対策案の検討を行う。

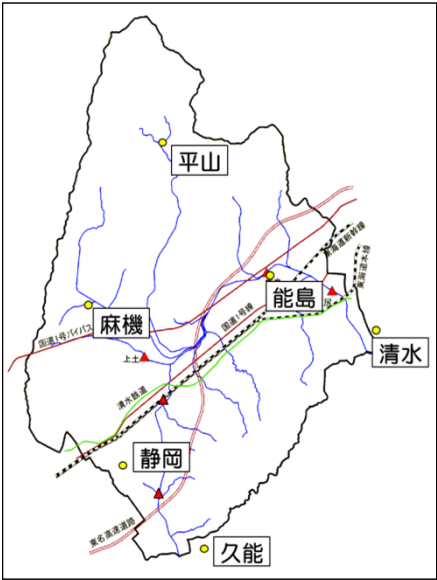


STEP③：台風18号実績降雨を対象に、STEP②で設定した対策案を実施した場合の対策効果の検証を行う。

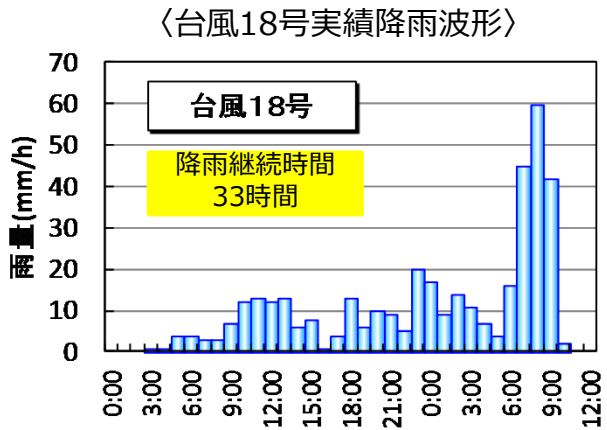
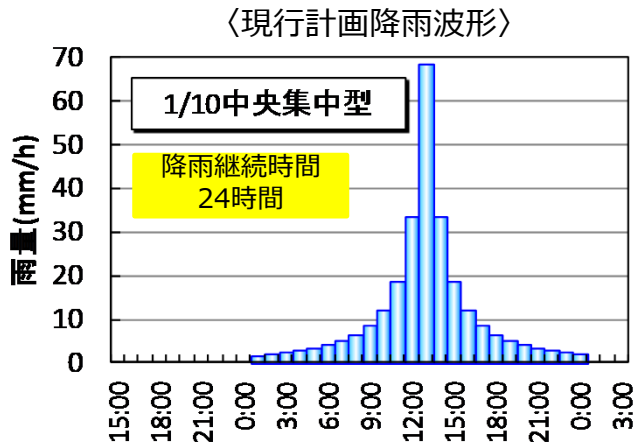
現行計画の目標と台風18号による降雨の比較（前回までの整理）

現行計画の目標規模と流域内雨量観測所における観測データの比較

異常気象名	観測所名	1時間		3時間		24時間	
		最大雨量	確率規模	最大雨量	確率規模	最大雨量	確率規模
現行計画	流域平均	68.7mm	1/10	135.9mm	1/10	271.2mm	1/10
台風18号	麻機	56mm	約1/4	123mm	約1/6	330mm	約1/56
	能島	67mm	約1/8	158mm	約1/21	372mm	1/100以上
	静岡	60mm	約1/5	147mm	約1/13	357mm	1/100以上
	清水	29mm	1/2以下	66mm	1/2以下	246mm	約1/5
	平山	90mm	約1/44	190mm	約1/57	434mm	1/100以上
	久能	41mm	1/2以下	114mm	約1/5	313mm	約1/32
	流域平均	59.7mm	約1/5	148.0mm	約1/14	362.4mm	1/100以上



雨量観測所位置図



台風18号による降雨は、**現行計画の目標規模（年超過確率1/10）を大きく上回る降雨で長く雨が降り続いた後に降雨のピークを迎えたいわゆる「後方集中型」の降雨であった。**

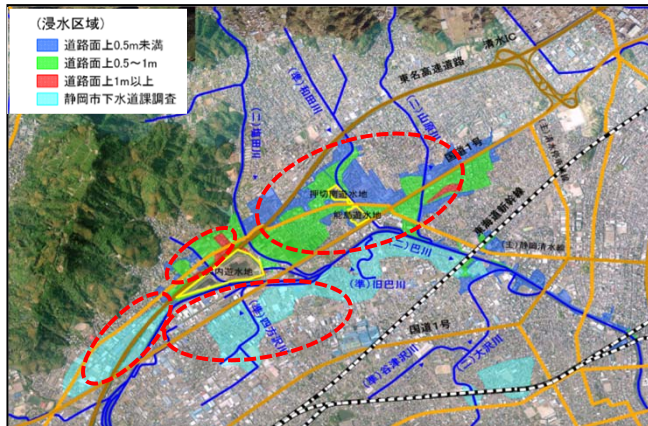
STEP ① 氾濫シミュレーションによる浸水状況・被害額の確認

台風18号による実績降雨を外力として、氾濫シミュレーションにより浸水被害や被害額を確認した。

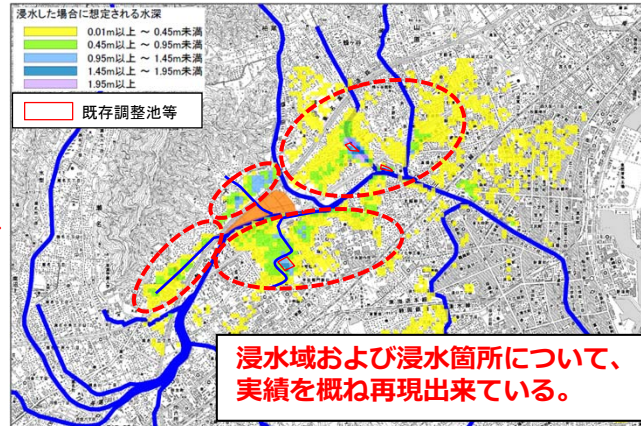
〈計算条件〉

項目	摘要
計算外力	台風18号実績降雨
検討ケース	①現況

【浸水実績】



①現況



床上浸水減少率	被害額【軽減額】
-	約228億円

種類		①現況
直接被害額	家屋 (百万円)	9,233
	家庭用品 (百万円)	4,209
	事業所 (百万円)	償却 4,121
		在庫 1,673
	農漁家 (百万円)	償却 6
		在庫 2
	一般資産被害額合計 (百万円)	19,244
	農作物 (百万円)	水稻 3
		畑作物 1
	農作物被害額合計 (百万円)	4
直接被害額合計 (百万円)	19,248	
間接被害額	営業停止損失 (百万円)	1,780
	清掃労働対価 (百万円)	387
	代替活動 (百万円)	733
	事業所応急対策費用 (百万円)	650
	間接被害額合計 (百万円)	3,550
被害額合計 (百万円)	22,798	

※被害額は清水地区（放水路分派点の下流域）を対象として算出
 ※被害額は公共事業における費用対効果の算出等で一般的に用いられる手法（治水経済マニュアル）により算出し、直接被害額と間接被害額の合計を記載した。（公共土木施設等被害額を除いて算出）

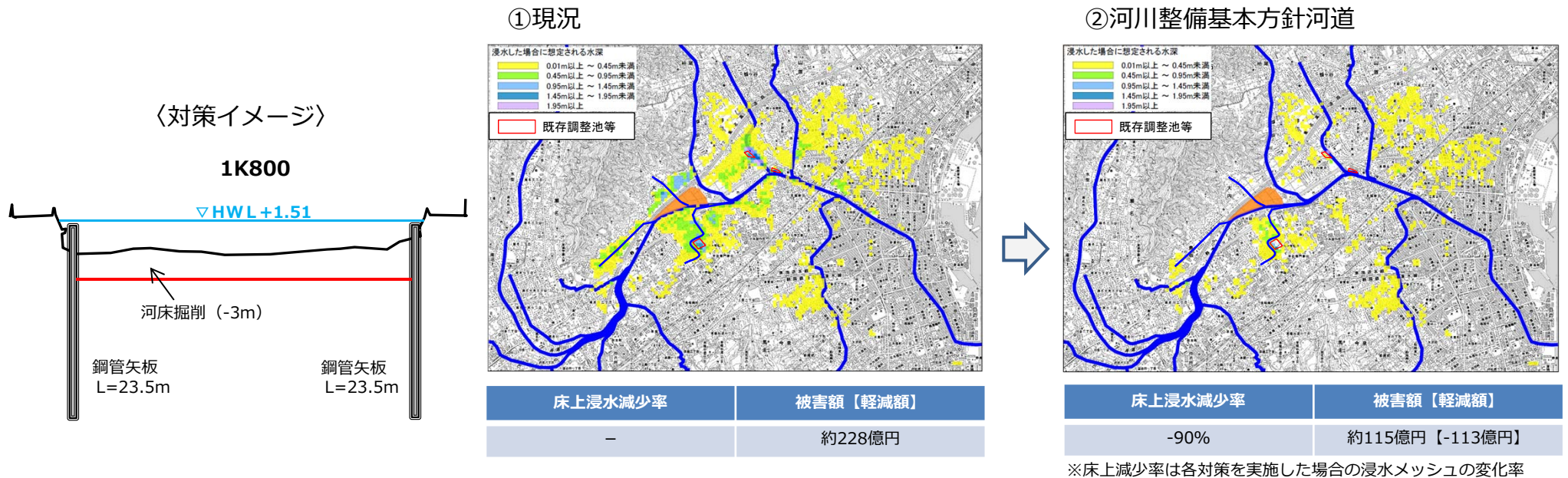
- ・ 氾濫シミュレーションモデルにより、台風18号降雨による浸水被害を再現した結果、浸水実績を概ね再現できていることが確認できた。
- ・ 氾濫計算をもとに台風18号の洪水に伴う被害額を算出すると約228億円となった。

STEP ① 台風18号実績降雨に対する現行計画の対策効果

- 巴川では、将来計画に向けた段階的な整備目標を立てて治水対策を進めている。
- 台風18号による実績降雨を外力として、将来計画に基づく対策（河川整備基本方針：1/50規模）を実施した場合の対策効果を検証した。

〈計算条件〉

項目	摘要
計算外力	台風18号実績降雨
検討ケース	①現況 ②河川整備基本方針河道（流域水害対策メニュー+0.0k~9.6k間の河床掘削等）



- 台風18号による実績降雨に対して、将来計画である河川整備基本方針（1/50）に基づく整備を行うことで大きな被害軽減効果が確認できる。
- しかし、周辺に比べ地盤が低い土地などでは、依然として浸水被害が残る結果となった。

STEP ② 台風18号実績降雨波形を考慮した年超過確率1/10の降雨波形に対する対策

- 台風18号による降雨は、**現行計画の目標規模（年超過確率1/10）を大きく上回る降雨**
- 巴川では、将来計画に向けた段階的な整備目標に基づき治水対策を進めていることから、**現在の整備目標も考慮しつつ、目標規模を上回る降雨に対しても、より効果的かつ実現可能な対策**を検討する。

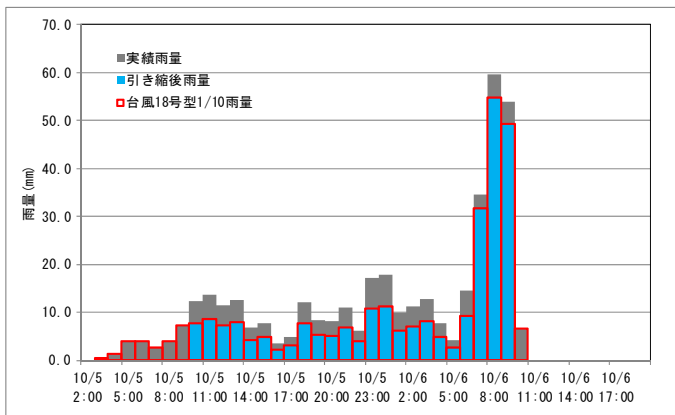
〈県内他河川の計画規模〉

河川名	安間川	馬込川	太田川	巴川	沼川
流域内市町村	浜松市	浜松市	磐田市 袋井市 他	静岡市	富士市 沼津市
流域面積 (km ²)	21.0	105.2	488.1	104.8	209.6
河道延長 (km)	14.00	23.2	44.00	17.98	14.10
河川整備目標規模 (策定年度)	1/10 (H16)	1/10 (検討中)	1/10 (H13)	1/10 (H21)	1/10 (H24)
主な治水対策	遊水地 河道整備	河道整備	ダム 河道整備	放水路 遊水地 河道整備	放水路

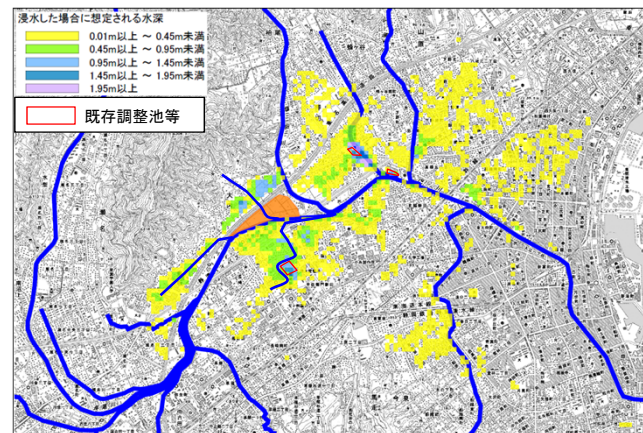
〈台風18号型1/10降雨波形の降雨量〉

	台風18号実績	現行計画 (1/10)	台風18号型 (1/10)
総雨量	393.0mm	271.2mm	301.7mm
24時間雨量	362.4mm	271.2mm	271.2mm
3時間雨量	148.0mm	135.8mm	135.8mm

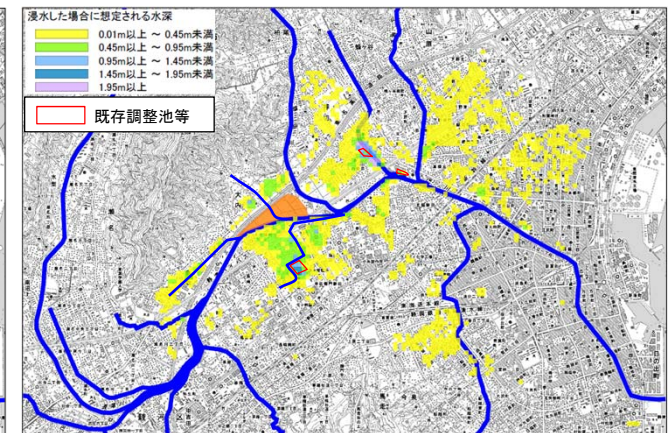
〈台風18号型1/10降雨波形〉



〈台風18号実績再現〉



〈台風18号型1/10現況〉



台風18号実績降雨波形を考慮した年超過確率1/10の降雨波形（以下「台風18号型1/10降雨波形」という）を作成し、この降雨に対し、浸水被害の軽減対策を検討する。

STEP ② 台風18号実績降雨波形を考慮した年超過確率1/10の降雨波形に対する対策

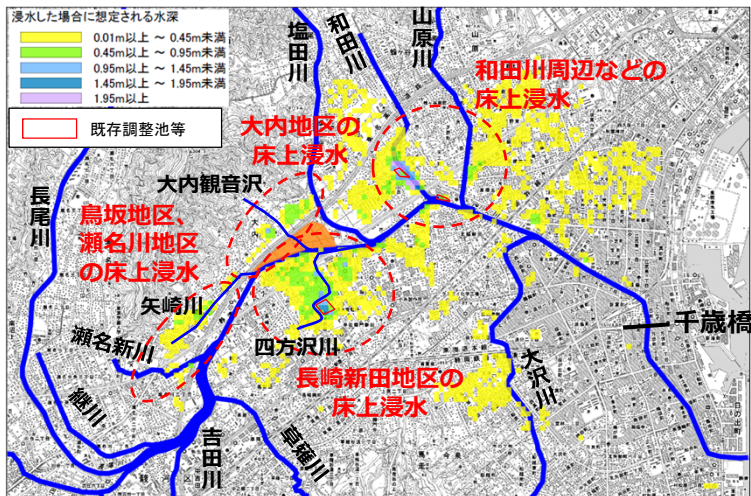
〈検討①〉

台風18号型1/10降雨波形を対象とし、現況で床上浸水が発生する地区及び計画HWLを超過する区間を把握する。

〈計算条件〉

項目	摘要
計算外力	台風18号型1/10降雨波形
下流端水位	朔望平均満潮位
検討ケース	ケース1：現況

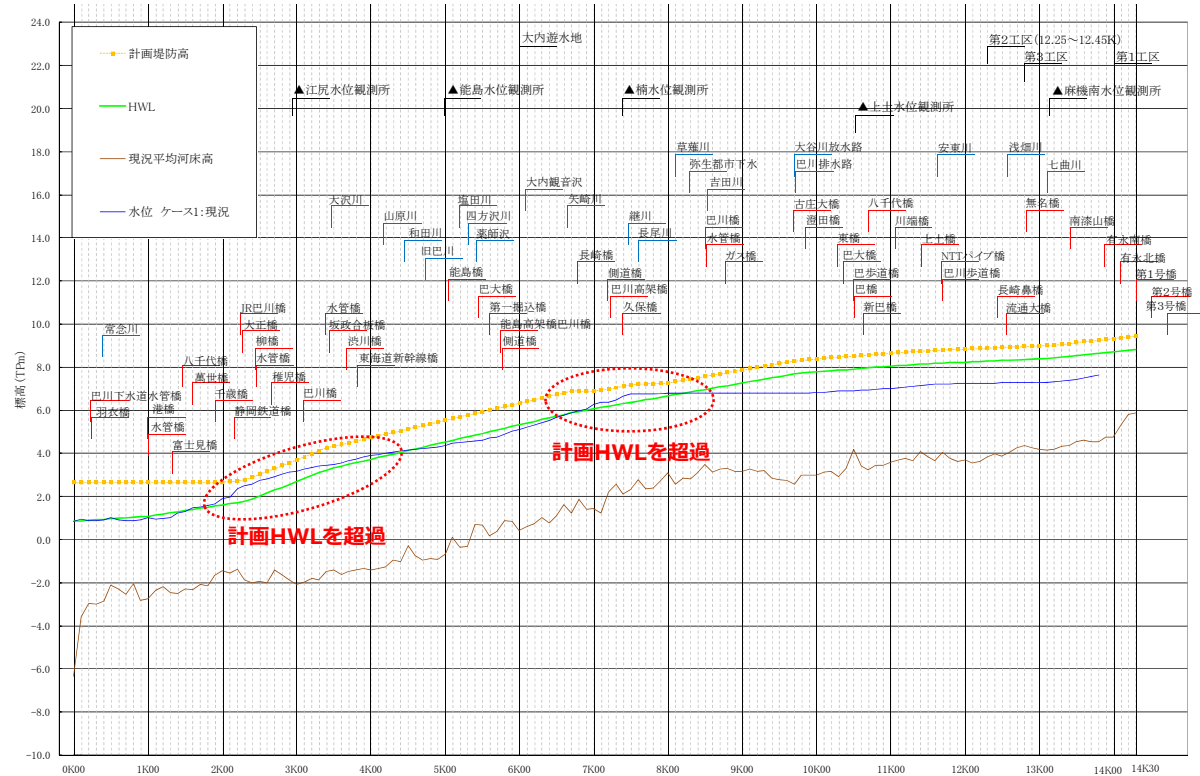
ケース1：現況



床上浸水減少率	被害額【軽減額】
-	約184億円

※床上減少率は各対策を実施した場合の浸水メッシュの変化率

〈計算水位縦断面図〉



〈計算結果〉

ケース1（現況）では、

- ・ 1.9k～4.2k（千歳橋～和田川合流点）で、計算水位がHWLを超過。
- ・ 6.8k～8.4k（矢崎川合流点～吉田川合流点付近）で、計算水位がHWLを超過。



HWL以下に収まる対策案を検討

STEP ② 台風18号実績降雨波形を考慮した年超過確率1/10の降雨波形に対する対策

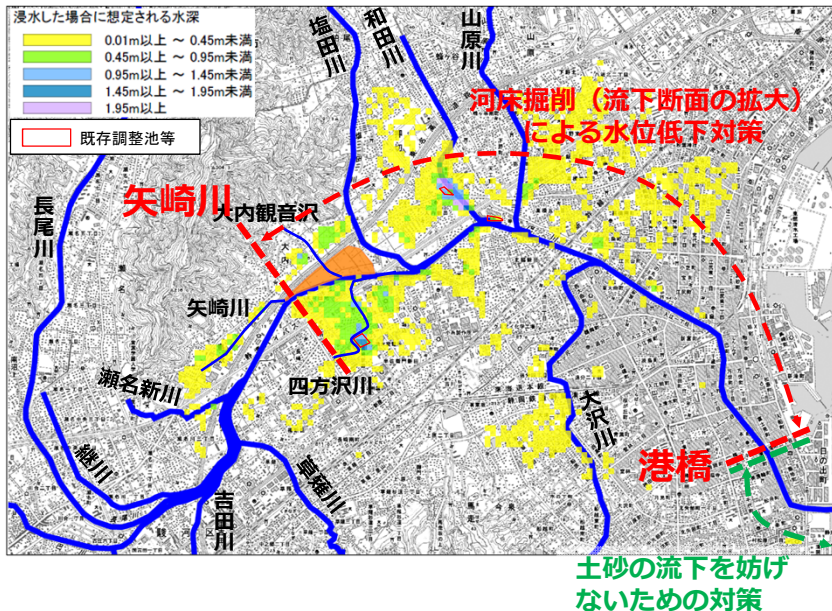
〈検討②〉

台風18号型1/10降雨波形を対象とし、床上浸水被害が発生している各地区の排水先である巴川本川の水位を計画HWLまで下げ、洪水を安全に流下させることができる対策（案）を検討する。

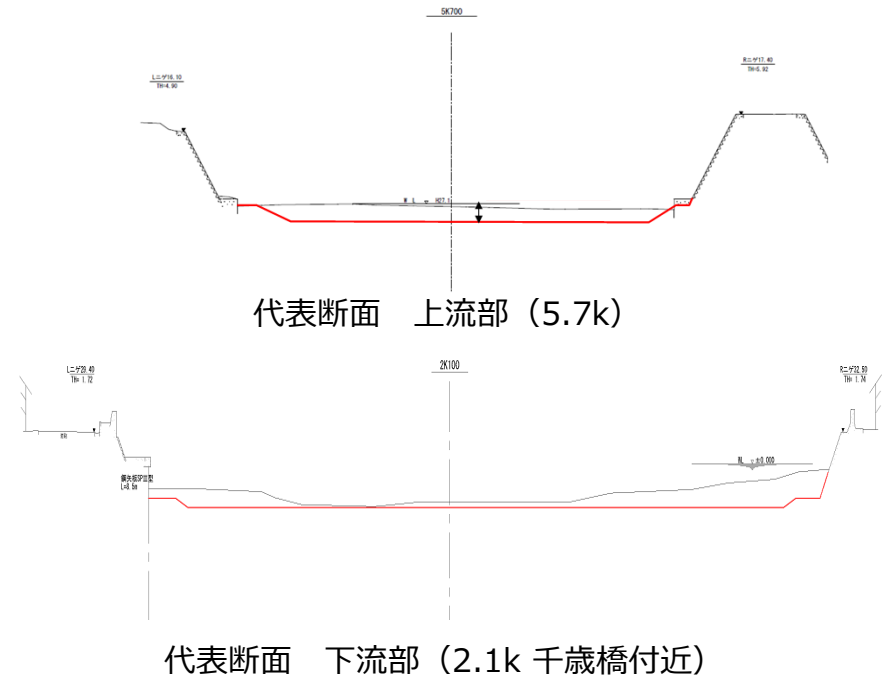
〈対策（案）〉

対策内容	摘要
<p>流域水害対策計画に位置づけられた施設整備（麻機遊水地2-1工区、静岡市下水道整備、流域貯留施設約86万m³整備）に加え、以下の対策を実施</p> <p>①：港橋～矢崎川：河床掘削（流下断面の拡大）による水位低下対策 ②：0.0kから港橋：土砂の流下を妨げないための対策</p>	<p>和田川周辺、大内地区、鳥坂地区など各地区からの巴川への排水地点において計算水位を下げるような対策を検討</p>

〈対策範囲〉



〈対策イメージ〉

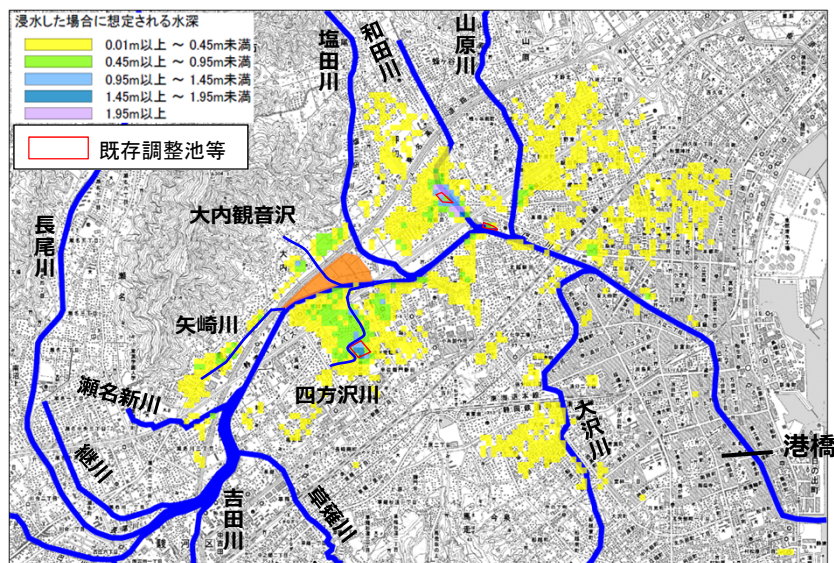


STEP ② 台風18号実績降雨波形を考慮した年超過確率1/10の降雨波形に対する対策

〈計算条件〉

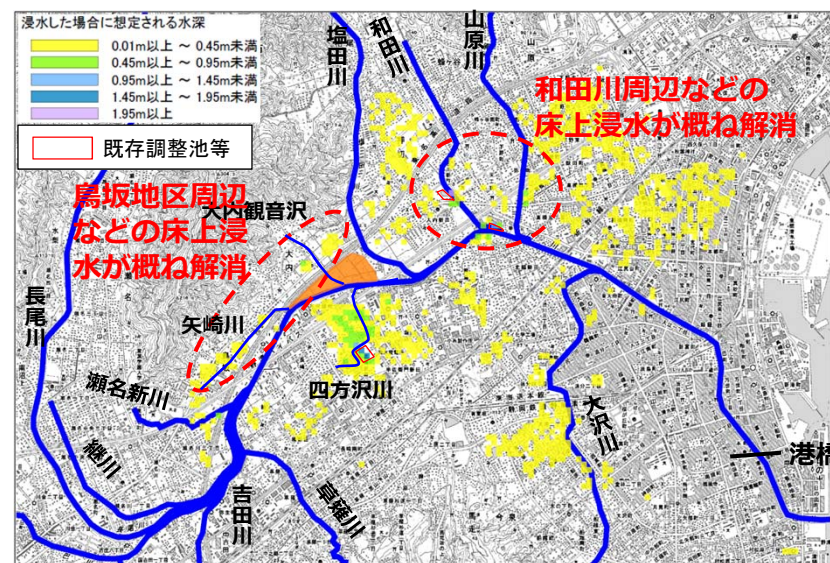
項目	摘要
計算外力	台風18号型1/10降雨波形
下流端水位	朔望平均満潮位
検討ケース	ケース1：現況
	ケース2：対策（案）完了（流域水害対策+港橋～矢崎川の河床掘削）

ケース1：現況



床上浸水減少率	被害額【軽減額】
-	約184億円

ケース2：対策（案）完了

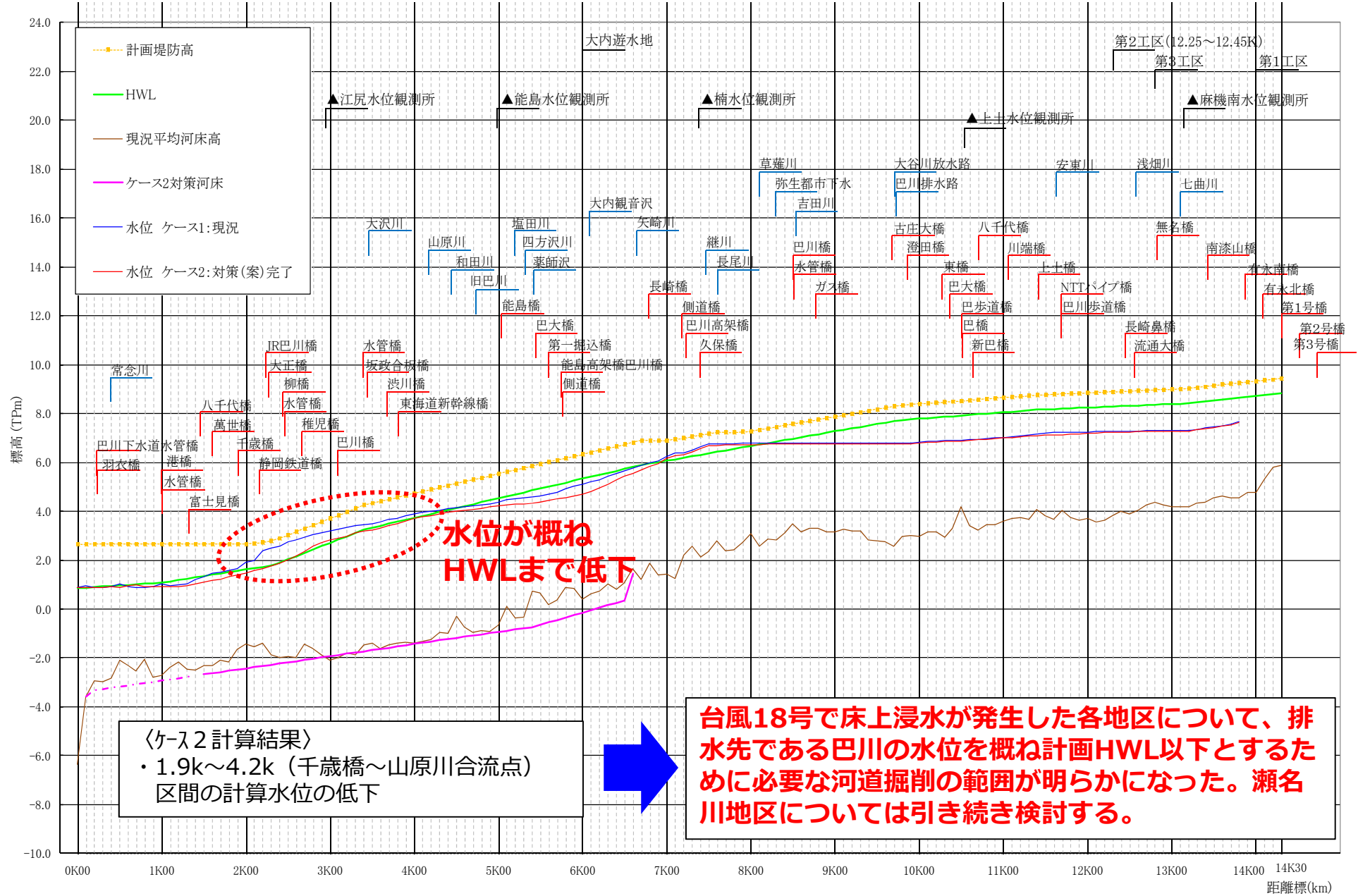


床上浸水減少率	被害額【軽減額】	対策費用
約73%減	約114億円【-70億円】	精査中



STEP ② 台風18号実績降雨波形を考慮した年超過確率1/10の降雨波形に対する対策

〈計算水位縦断面図〉



水位が概ね
HWLまで低下

〈ケース2 計算結果〉
・ 1.9k~4.2k (千歳橋~山原川合流点)
区間の計算水位の低下

台風18号で床上浸水が発生した各地区について、排水先である巴川の水位を概ね計画HWL以下とするために必要な河道掘削の範囲が明らかになった。瀬名川地区については引き続き検討する。

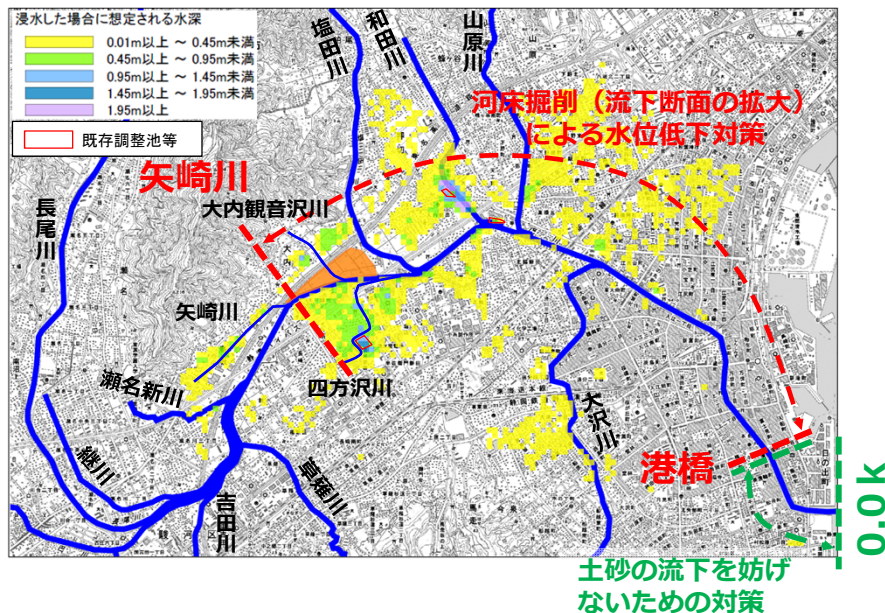
STEP ③ 台風18号実績降雨波形に対する対策効果の検証

〈検討③〉
台風18号実績降雨波形を対象とし、前頁の対策（案）を実施した場合の対策効果を検証する。

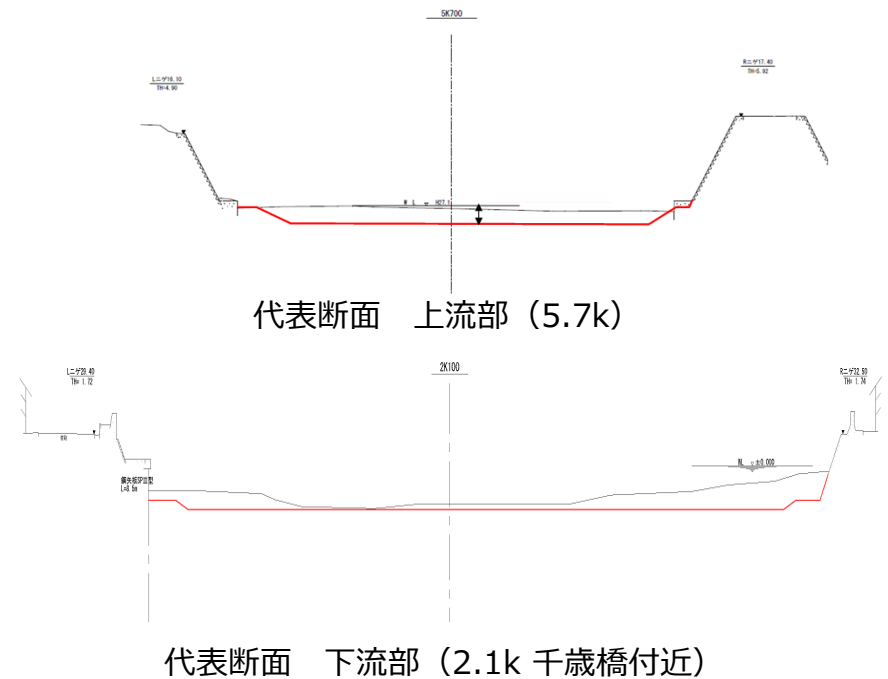
〈前頁の対策（案）〉

対策内容	摘要
流域水害対策計画に位置づけられた施設整備（麻機遊水地2-1工区、静岡市下水道整備、流域貯留施設約86万m ³ 整備）に加え、以下の対策を実施 ①：港橋～矢崎川：河床掘削（流下断面の拡大）による水位低下対策 ②：0.0kから港橋：土砂の流下を妨げないための対策	和田川周辺、大内地区、鳥坂地区など各地区からの巴川への排水地点において計算水位を下げるような対策を検討

〈対策範囲〉



〈対策イメージ〉

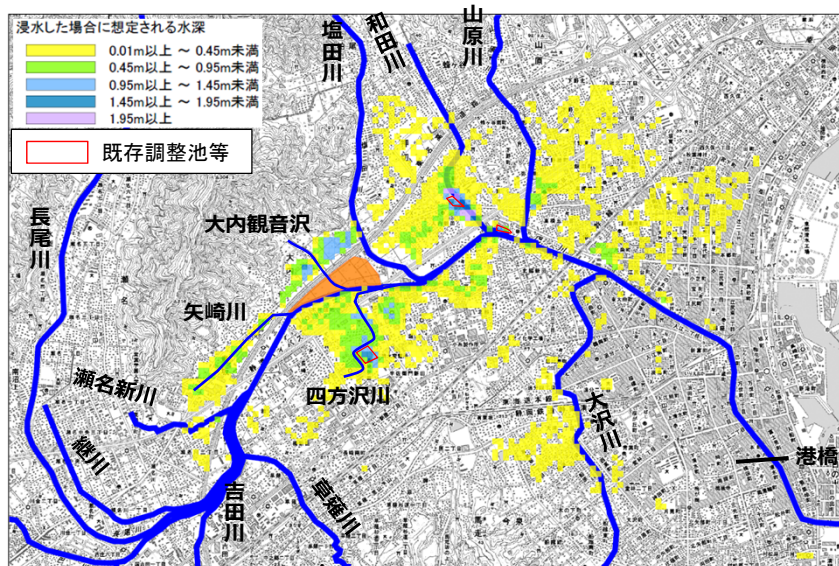


STEP ③ 台風18号実績降雨波形に対する対策効果の検証

〈計算条件〉

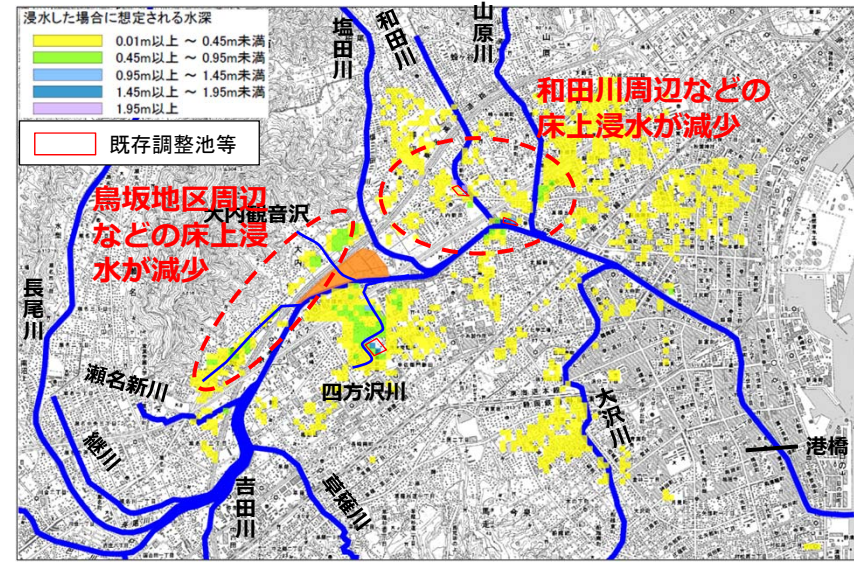
項目	摘要
計算外力	台風18号実績降雨
下流端水位	朔望平均満潮位
検討ケース	ケース1：現況
	ケース2：対策（案）完了（流域水害対策+港橋～矢崎川の河床掘削）

① 現況



床上浸水減少率	被害額【軽減額】
—	約228億円

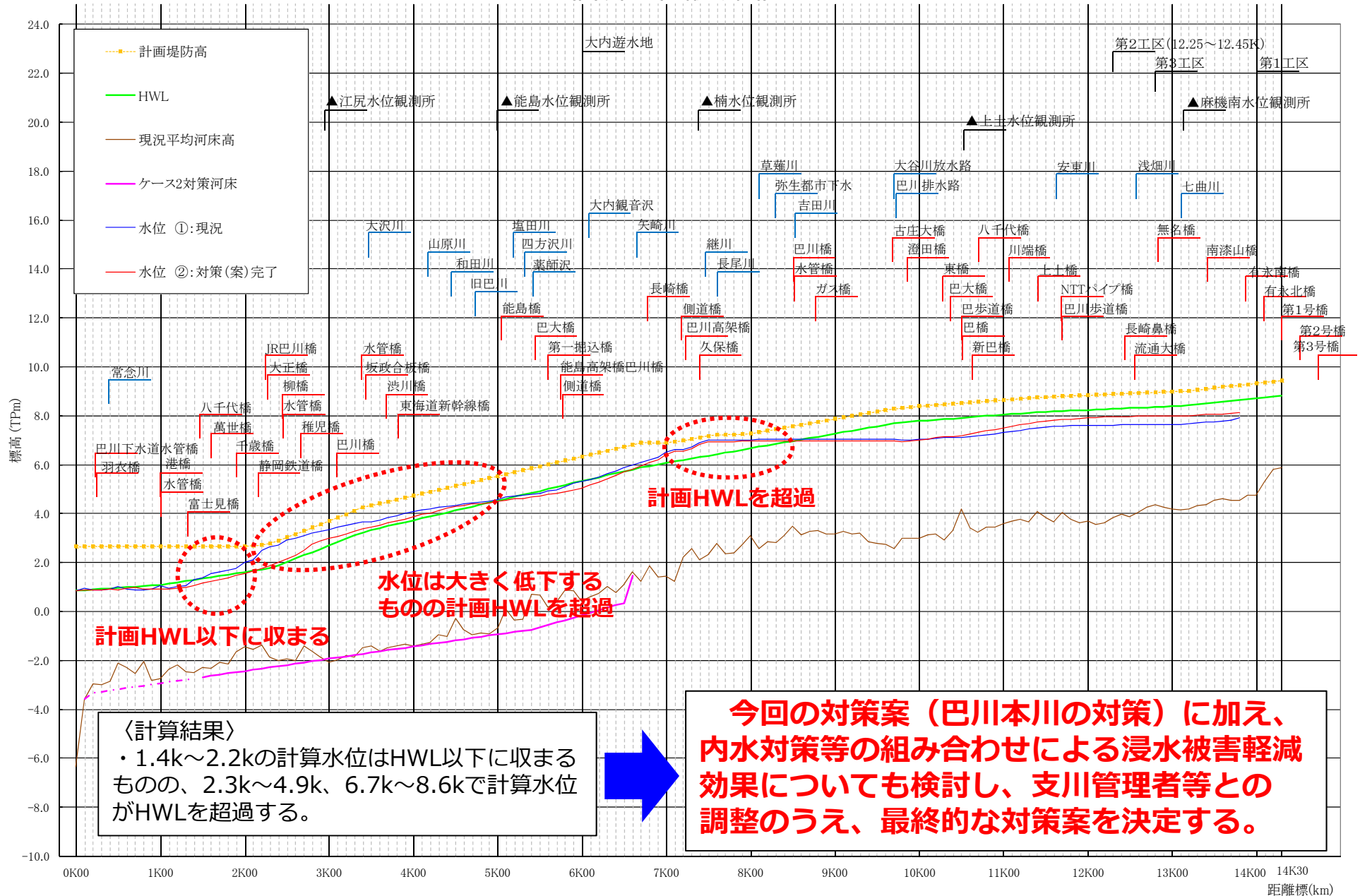
② 対策（案）完了



床上浸水減少率	被害額【軽減額】	対策費用
約66%減	約146億円【-82億円】	精査中

STEP ③ 台風18号実績降雨波形に対する対策効果の検証

〈計算水位縦断面図〉



【平成27年度検討 まとめ】

- 巴川においては段階的な整備により治水安全度の向上を図るなかで、当面の対策目標を、台風18号のような後方集中型の雨の降り方も踏まえた年超過確率1/10程度とした。
- その上で、現行計画に加え、巴川本川において実現可能な河床掘削等を行うことで、平成26年台風18号の降雨に対しても一定の被害軽減効果が確認できた。

【平成28年度の検討方針】

- (1) 台風18号で床上浸水が発生した地区（瀬名川地区を除く）から流入する支川の合流点処理について、巴川から支川への逆流の影響を把握した上で、必要な対策とその被害軽減効果の検討を行う。
- (2) 瀬名川地区については、継川の改修（河積拡大、築堤等）による被害軽減効果の検討を行い、その結果を踏まえ、必要に応じて巴川本川の河床掘削範囲の延伸も検討する。
- (3) 大内遊水地洪水調節機能の強化策（容量拡大、越流堤の改良等）と効果の検討を行う。
- (4) 概算事業費の精度向上と費用対効果分析を行う。

以上の検討を平成28年度に実施し、早期の事業着手を目指す。

平成27年度検討状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ハード対策> 流出抑制対策 -3 道路への雨水浸透柵等の設置

道路へ雨水浸透柵等を設置することにより、雨天時に河川・下水道へ流れ込む量を少なくします。

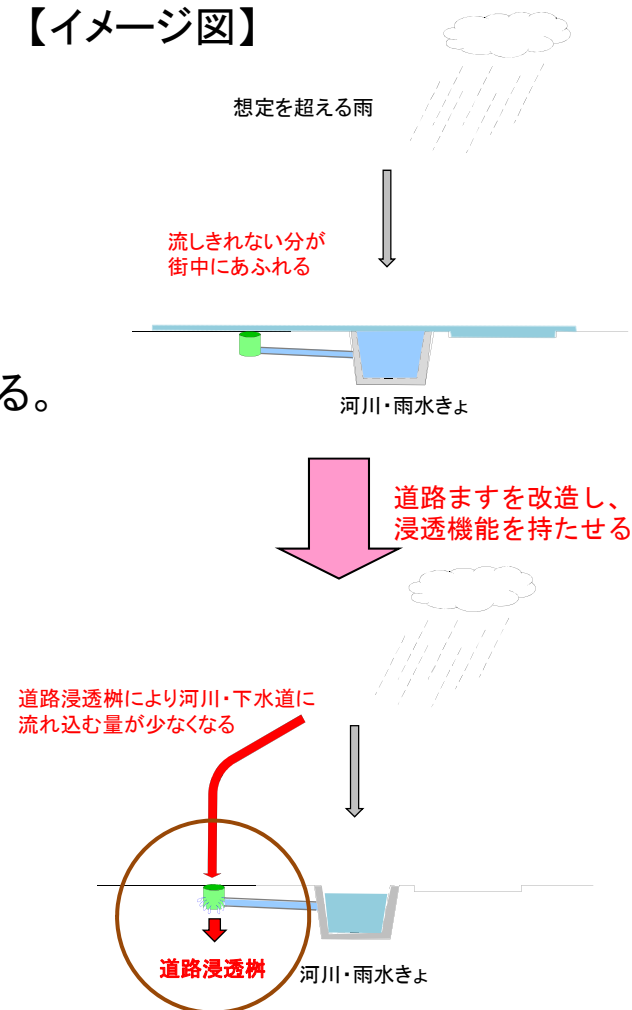
平成27年度検討内容

委託業務期間：平成27年8月～平成28年3月
業務内容：整備を進める区域や、道路ますの構造を検討し、事業計画の立案をまとめる

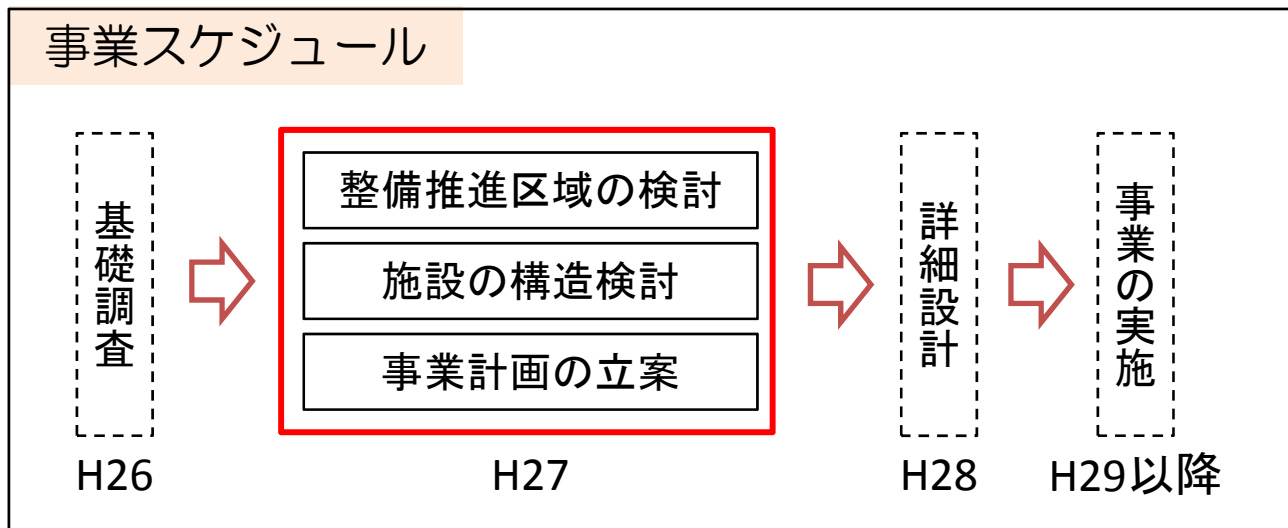
【検討状況】

- ・過年度の浸水実績及び浸透効果等を考慮し、事業の「必要性」と「効率性」から整備を進める区域を決定し、整備推進区域として設定する。
- ・経済的に効果の見込める構造を検討する。

【イメージ図】

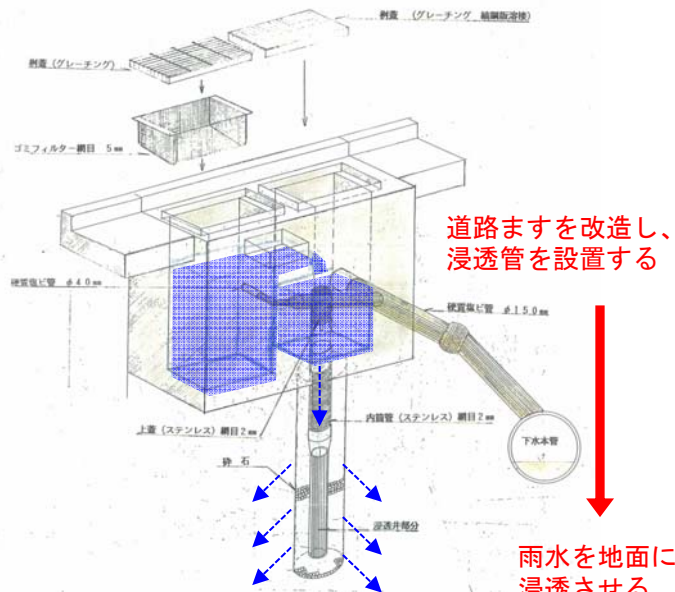


事業スケジュール



平成27年度検討内容

【道路浸透柵のイメージ図】



下水道や河川へ流れ
込む量が少なくなる



※土質や過去の浸水被害等を考慮し、優先度の高い場所を整備推進区域とした。
その他設置効果が見込める地域は、事業の進捗状況に合わせて検討していく。

平成27年度検討状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

＜ソフト対策＞
浸水被害軽減対策

-1 行政機関における防災体制等の強化

県・市が連携し、過去の主要な水害記録をDB化するとともに、民間気象会社からの今後の雨量予測を踏まえ、過去の水害パターンとマッチングさせることで、今後の水害を想定し、一層高度な避難情報を行う。

平成27年度検討内容

委託業務期間：H27.6～H27.11
業務内容：巴川流域における危険度情報取得

【検討状況】

実災害において情報を取得し、体制整備や避難に関する情報の発令などに役立つか効果を検証

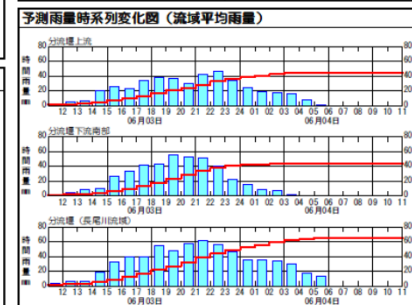
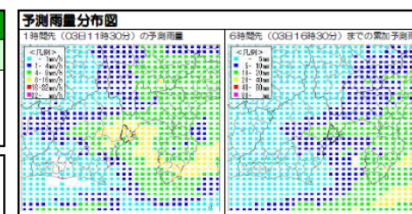
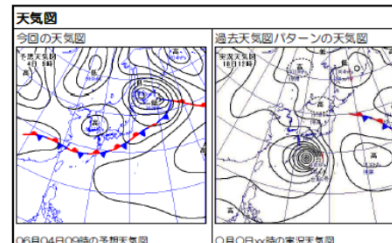
【情報取得の実績】

- 平成27年6月1日より実施
- 週1回の週間気象情報
 - 7月9日：静岡市南部大雨警報時の危険度情報
 - 7月15日：台風11号時の危険度情報
 - 9月8日：台風18号時の危険度情報
- ※契約期間は11月15日まで

浸水危険度情報（サンプル）

危険度	AA	A	B	C
体制	態勢支援	大雨警戒	通常	
天気パターン	1:台風接近+前線+(地形性前線) 2:台風接近+(地形性前線) 3:その他(不安定性)+(地形性前線)			

概況
これはサンプルです。



【検討結果】

- 予測を基にタイムラインを作成し対応
- 一定の効果は得られた。

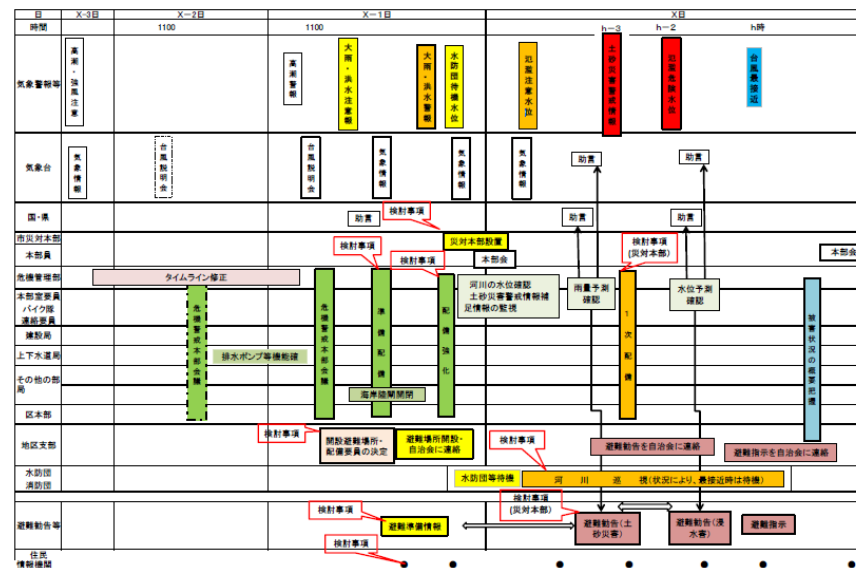
【課題】

- 局地的な短時間豪雨は予測不可能
- 巴川流域以外でも注意しなければならない地区は多数ある。

【今後の予定】

- 次年度の業務については情報の範囲、情報の収集回数（週1回の情報取得は廃止）などを見直す。

タイムライン(台風版)案



平成27年度検討状況（巴川流域における浸水被害軽減に向けた行動計画）

<ソフト対策>
浸水被害軽減対策

-4 自助による減災行動につながる情報提供のあり方の検討

雨量や水位、過去の浸水実績等の情報を周知することで、減災行動を促す。

平成27年度検討内容

【実施状況】

- ・同報無線子局の維持管理：638箇所
- ・ホームページ、ブログを活用した情報の発信
- ・緊急情報防災ラジオの普及促進

平成26年度：自主防災組織などへの貸与4,200台

平成27年度：20,000台販売

- ・市民向け防災メール登録者の拡充

現状38,000件 → 目標42,000件

【検討状況】

- ・風水害時の指定緊急避難場所の周知方法
- ・さらなる情報伝達の多重化の検討
- ・メールでの雨量や河川水位などの情報の伝達の検討



【静岡市緊急情報防災ラジオ】

同報無線



避難行動及び指定緊急避難場所の周知（パンフレット）

（案）

大雨や台風から身を守るために！

◎ 気象情報に注意しましょう！

テレビ（データ放送）、ラジオ、防災メール等から情報を確認してください。

◎ 避難に関する情報は3つあります！

「土砂災害や浸水地域に該当する場合は、この情報に基づき避難行動を開始してください。」

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報	●避難するに時間的余裕がある要配慮者は避難を始める必要はない状況です。 ●人的被害が発生する可能性がある状態です。	●高齢者、病人、障害者の方は支援者とともに安全な場所へ早急の避難を始めてください。 ●川沿いや山沿いに住まれている方は、早急の避難を心がけてください。
避難勧告	●通常の避難ができる方についても避難を始める必要はない状況です。 ●人的被害が発生する可能性がさらに高まっている状態です。	●安全な場所へすみやかに避難を始めてください。 ●避難中の方は確実に避難を完了してください。
避難指示	●災害の発生直後の被害や切迫した状況が、人的被害が発生する可能性が非常に高まっている状況または突如人的被害が発生した状況です。	●避難中の方は確実に避難を完了してください。 ●安全な場所へすみやかに避難を始めてください。

※ただし、避難勧告・指示が出されても自宅が安全な場所であれば避難の必要はありません。
※非常持出袋を用意するなど、いつでも避難できるように準備してください。
※避難の明確な余裕がない場合は命を守る最低限の行動をしてください。

◎ 被害状況等により「指定緊急避難場所」(裏面参照)が開設します！

災害対策基本法の改正により、避難所等在災害の事象ごとに指定することになりました。
風水害や土砂災害の危険から緊急に逃げるための避難場所として「指定緊急避難場所(風水害・土砂災害)」を指定いたしました。(裏面参照)

◎ 風水害・土砂災害の避難行動を確認しましょう！

避難行動	避難場所例	説明
自主避難 (避難可能)	指定緊急避難場所、親戚・知人宅など	雨が強くなる前や浸水する前に自主的に安全な場所に避難すること
垂直移動 (避難可能)	自宅の2階以上、近隣建物の高層部	切迫した状況において、階内の2階以上のできるだけ安全な部屋(がけや河川から離れた部屋)に避難すること
水平移動 (避難困難)	近隣の安全な建物など	その場を立ち退き、近隣の少しでも安全な場所(がけや河川から離れた場所)に一時的に避難すること



（案）

＜英区：指定緊急避難場所（風水害・土砂災害）＞

※指定緊急避難場所は、風水害において迅速に避難者の受け入れ場所を確保するため、地区支部員（市職員）が参集する各学区・地区の防災拠点施設を指定しています。
※指定緊急避難場所は、避難準備情報以上の情報が発表された場合に開設いたします。
※被害の拡大や避難者の状況に応じて、防災災害時の避難所でもある中学校や高等学校等も「緊急避難場所」として開設する場合があります。

No.	学区・地区	緊急避難場所	所在地
1	葵	葵小学校	葵区城内町7-9
2	新通	新通小学校	葵区駒形通二丁目4-47
3	駒形	駒形小学校	葵区南安信二丁目1-1
4	藤野	藤野小学校	葵区新藤野一丁目23-1
5	田町	田町小学校	葵区田町五丁目70
6	安西	安西小学校	葵区安西一丁目96-3
7	伝馬町	伝馬町小学校	葵区伝馬町14-2
8	井原	井原小学校	葵区平和一丁目7-1
9	井宮北	井宮北小学校	葵区上伝馬2-1
10	隠機南	隠機南小学校	葵区松生三丁目1-46
11	隠機中	隠機中小学校	葵区牛妻2095-2
12	隠機北	隠機北小学校	葵区依沢234-1
13	安倍口	安倍口小学校	葵区安倍口新田50
14	美和	美和小学校	葵区道徳新田69-1
15	足久保	美和中学校	葵区足久保口組3276-2
16	松野	松野小学校	葵区松野598-2
17	井川	井川生涯学習交流館	葵区井川656-2
18	柳ヶ島	柳ヶ島生涯学習交流館	葵区柳ヶ島1309
19	大内	大内生涯学習交流館	葵区中野1087-38
20	玉川	玉川生涯学習交流館	葵区落合126-1
21	横内	横内小学校	葵区緑町1-1
22	安東	安東小学校	葵区安東三丁目16-1
23	城北	城北小学校	葵区北安東四丁目27-3
24	霞野	霞野小学校	葵区霞野一丁目23-1
25	千代田	千代田小学校	葵区倉谷五丁目47-1
26	千代田東	千代田東小学校	葵区川谷三丁目41-1
27	西森	西森小学校	葵区瀬名三丁目23-1
28	西森南	西森南小学校	葵区南瀬名町1-20
29	北沼上	北沼上小学校	葵区北沼上1020
30	麻機	麻機小学校	葵区有永421-1
31	服織	服織小学校	葵区羽鳥六丁目9-1
32	服織西	服織西小学校	葵区新開759-1-1
33	南栗科	南栗科小学校	葵区青津400
34	中栗科	中栗科小学校	葵区大原942-1
35	清沢	清沢生涯学習交流館	葵区長尾渡66-2
36	大川	大川生涯学習交流館	葵区日向10

＜問い合わせ＞

静岡市 総務局 危機管理課 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL：054-221-1012

【検討結果】

- 風水害指定緊急避難場所パンフレットを作成し、全世帯配付
- Twitterやフェイスブックの活用
- 防災アプリの導入について調査

【課題】

- システムが増え、それぞれが独立していると災害時の対応が煩雑になる。
- 保守点検などの費用が増加する。

【今後の予定】

- Twitterやフェイスブックの活用について検討 → 既存システムとの連動
- 引き続き、効果的に避難誘導が図れる防災アプリを模索する。



今後の進め方について

今後の進め方

年度	実施時期	協議会・幹事会	内 容
H27	H28.3.1	第25回 巴川流域総合治水対策協議会幹事会	進捗状況の報告
	H28.3.17(本日)	第11回 巴川流域総合治水対策協議会	
H28	H28.6月頃	第26回 巴川流域総合治水対策協議会幹事会	検討状況の報告
	H29.1月～2月頃	第27回 巴川流域総合治水対策協議会幹事会 第12回 巴川流域総合治水対策協議会	平成28年度 実施状況報告